

製パン工業界の世界的權威 木村屋總本店の概況

パン工業史の第一頁を 飾るその偉大なる業績



木村屋總本店の概況

國民保健の促進と我國食糧問題の解決に對してその品質の科學的改良とパン業の實際的運動の歴史は、積々その目的達成の域にある現代文化生活の現況より顧みて、かなり明瞭なものである。何千年來より外に食べたことのない吾人が日常の生活に少なくとも一度はパンに手を觸れないことはいないであらう。また子供のおやつにしても、その好んで求むる饅頭やパンが占めて居る位に、すでに今日では食糧の王座を領め、保健價値に於ては勿論食糧の兩方面に百パーセントの好果を擧げて居るといふ蓋し國民生活自然の要求ではあらう。けれども、この大問題の將來を先見して一脈の獎勵運動より端をたし今日の完成期に到達するまでの事業先覺の努力こそ今日にして益々光輝ある業績として敬仰すべき一大記録である。

即ち我國に於ける製パンの元祖として世界的名聲を喧傳せらるゝ東京銀座、木村屋總本店こそ我々工業界に永遠に忘るゝことのない出来事であり、大偉人でありまた權威者として重きを存す所以である。同時に其歴史は其まことに我國パン工業史を形成するものと言ふも敢て過言ではない。

同店は初代木村安兵衛氏の創業に發し、次で二代木村三郎氏、三氏木村儀四郎氏と継ぎ現店主木村榮三郎氏は四代目であるが、舊幕時代に於て外國文明は主として長崎を通じて我國に輸入せられたことは人の知る所であるが、當時に於いては正に我國文化の中心であつた。従つて木村屋のパンもその來歴を調べて見るとやはり文明の播種地たる長崎からである。即ち木村屋初期のパンは和蘭パンの製法によつたもので、同店の始祖たる木村安兵衛氏もまた茨城縣北相馬郡原代村の人であつたが、氏の木家に木村重義と云ふ人があつて幕末時代に京坂の地に同志と往來して國事に奔走し勤王に努めたが維新後東京府に出仕して大左官となり慶應の末から明治年にかけて維新の戦亂があり財界は破産して居た上に内國の不況が打撃を蒙つたので東京府では投資場を設けて多數の窮民を救済し、之に一定の仕事をして救済したことがあつた。初代安兵衛氏は木村重義氏の旨を受けてその投資場の事を見ることとなつたが、當時救済者のうち梅吉と云ふものが居た、もと長崎に住んで和蘭人のコックをして居た男



木村屋總本店の概況

契約者相互の福利を目的とし 契約者が社員の特権を有する 蓬萊生命保險相互會社の一覽

東京市京橋區銀座西三丁目
取締役社長 太田清藏氏
専務取締役 武末祐三郎氏



同社の創設 同社は明治四十三年八月、溝澤榮一、益田孝、住友吉左衛門、藤田平太郎、古河虎之助、安川敬一郎、太田清藏の諸氏を初め、全國知名の士百餘名により基金を離出せられ、藤原定吉氏を社長として創立せられたのであるが、藤原社長後、大正五年二月藤原出著太田清藏氏社長に就任せられ今日に至り益々社運の興隆を見つあり。

同社の基礎 同社は創業以來總體善實を以て事業の方針とし、漸次基礎を固めて来たものであつて、現在諸積立金千萬圓に上り、多年の経験と共に内容益々充実し業績著しく伸長しつあり。

同社の組織 同社は最も進歩せる相互會社で、保契約者相互の福利を目的とするものである。隨つて株主の利益を目的とする株式會社と異なり、營業収益税印紙税を免除せられて居る。

社員の特権 同社の保契約者は之を社員と稱し、社員は社員總會を選挙し社員總會に於て重役の選挙は勿論、決算其他重要事項を議定する定めになつて居るから、會社は全く保契約者の共有で、而も契約者は約東の保料拂込以外何等の義務を負ふことがないから、眞に契約者本位の會社と言ふべきである。

保險種類 同社の保險には満期保險と累加満期保險と終身保險の三種がある。

保料 同社の保料は年一回拂を通じて居るが、年一回に分割して拂込む便法もある。尚ほ保料は次に述べる社員配當金を引けば、年々低下する點となる。

社員配當金 同社には株主なるものがないから、會社の剩餘金は法定準備金其他を控除した總額を、社員總會の決議によつて保契約者に分配する、之れを社員配當金と言ふが、配當金の割合は契約締結年數に應じ年々増加するから、結局保險を附しながら貯蓄するのと同様の効果がある。

貸附金 一定の期間保料を拂込んだ契約者には、保險證書を擔保として低利で借附する便法がある。

拂附保險 相當期間保料を拂込んだ契約者には、希望により將來保料を拂込ませずして保險契約を存続する拂附返戻金に變更する便法がある。

解約返戻金 保契約を中途解約の場合には、三年以上（十年満期保險は二年以上）保料を拂込んだ契約者に、責任準備金の内から解約返戻金の支拂ひをすることになつて居る。

満期保險

- 同社の満期保險は老後の慰安と遺族の保護を目的とするもので、被保險者が保期間満了の日まで生じたとき、又はその前に死亡したとき保料を支拂ふものである。
- この保險には十年満期、十五年満期、二十年満期、二十五年満期の四種あるが、孰れも年給十一才より契約出来ぬ。
- 保料は約東の期間中毎半拂込を要するが、被保險者に萬一のことがあつたときは、その次年度より拂込を要しない。
- 保險金は被保險者が保期間中に死亡したとき、又は保期間満了のとき、累加保險金と併せて支拂ふ。
- 保險には色々の種類があるが、契約後一年日から確實に保險金額が累加するものは、この保險の特色である。
- 尚同社の剩餘金は社員配當金として契約者に配當するから、この種の契約は結局二重の利益を受けることになり、極めて有利な保險であると言ふことが出来る。

累加満期保險

- 同社の累加満期保險は毎年保險金額が累加して、被保險者が長命な程保險金額が増加するから、最も樂しみの多い保險である。
- この保險には十五年満期、二十年満期、二十五年満期の四種あるが、孰れも年給十一才より契約出来ぬ。
- 保料は約東の期間中毎半拂込を要するが、被保險者に萬一のことがあつたときは、その次年度より拂込を要しない。
- 保險金は被保險者が保期間中に死亡したとき、又は保期間満了のとき、累加保險金と併せて支拂ふ。
- 保險には色々の種類があるが、契約後一年日から確實に保險金額が累加するものは、この保險の特色である。
- 尚同社の剩餘金は社員配當金として契約者に配當するから、この種の契約は結局二重の利益を受けることになり、極めて有利な保險であると言ふことが出来る。

終身保險

- 同社の終身保險は家族の保護を目的とするもので、保料の極めて低廉な保險である。
- 故にこの保險は少額の保料で比較的多額の契約が出来から、自己の勤勞によつて一家を支持せらるゝ方々には最も重寶である。
- この保險は保料の拂込方により有終身保險と無終身保險の二種に區別せられて居る。
- 有終身保險は契約の當初適當に保料拂込期間を定め、その期間中保料を拂込めば其後拂込を要せぬもので、保料拂込期間に十五年拂と二十年拂の二種がある。
- 無終身保險は被保險者の生存中保料を拂込むもので、各種類を通じて保料の最も低廉な保險である。
- 以上孰れも被保險者の死亡したときは直ちに保險金を支拂ひ、其次年度より保料の拂込を要せず、尙保險料は社員配當金を差引けば一層低廉するから、この種の保險に加入すれば、僅かの負擔で家族を保護し世に益するといふ生命保險終局の目的を達することが出来る。

だけパンの製法を心得て居ると云ふのでその梅吉をして造らしめたのが、今日の食パンであつた。安兵衛氏は逸早くこのパンが將來我國にも廣く用ひらるゝ事を豫想し前運有容なることを悟つて其後職を辭してからも製法に苦心し、當時は食パン種の「ホップス」を得ることにはなかつたが、困難であつたから種を改良して自來から造る所謂酒種を工夫したのである、そして我が國人の嗜好にも一層適合するやうに改良したので即ち今日の菓子パンで現に一般に用ゆるパン種は實に同氏が多年苦心の賜物である。

斯く語り來れば枚擧げに遑なき崇高なる活躍を我業界に捧げパン工業界の事實として噴々たる信譽を得るゝ同店の榮譽こそことに故なきにあらざる所である。同店は明治三年芝罘日館町に開業し現在の銀座へ移つたのは明治七年であるが、現今我國に廣まつて居る「アンパン」も全く同店の發明案に成るもので初めて出来たのは治九年頃であつた。又同店では西南戦の時、既に軍用ビスケットを製造して陸軍の御用を勤め其後日清日露の兩役にも軍需品として多量のパン、ビスケットを製造供給し近く日露戦争の際にも陸軍の御用を受けて多大の貢獻をなして軍事機關の確立に參與したことは特筆して同店の努力と大功勞を後世に傳ふの事實である。

また經營方法としては二代榮三郎氏は創業當時から今の銀座の店を經營したが幾もなく早世し三代儀四郎氏が官費上は木村屋創業者木村安兵衛氏夫妻の遺像にして無界永遠の記念物たり、三代は同店工場にして形勢の壯大なるのみならず食料工業の第一條件たる衛生設備は他に類するものなからず電化設備は現代科學の粋を集めて細部にその完備のさまを彷彿せしむるものがある。

尙現在本場町にある木村屋總本店工場は區劃整理のため現所に遷されたものにして其建築の壯麗巨大と共に工場施設に於て亦遺憾なく實に木村屋總本店の業容を示すに充分である。かくの如く大業成りて尙將來の大局を凝視し努力たゆまざる同氏のもとに全日一致高邁なる使命を遂行せらるゝは以て同店の愈々繁榮を招来するばかりでなく廣く新業の範と仰ぐべきである。

因に本店營業所は銀座西四丁目にして工場は京橋區木村屋町四丁目にある。

東京株式取引所一般取引員
東京株式取引所短期取引員
東京株式取引所所屬物取引員
東京株式取引所所屬債取引員

株式會社山叶商店

東京市日本橋區江橋一丁目

有價証券の投資 有價証券の投資は小資本にも適し、収益が確實で、何時でも現金に換へ得るし、又比較的有利であるから、最も良い條件を具備して居ると云はれて居る、此の有價証券には公債、社債と株式とがある。公債及社債は長期債、短期債、擔保債、無擔保債、利率、發行價格等に依りて自ら投資につき手がかり又株式に於ては新株、新株、普通株、優先株、既設會社、新設會社等に注意して投資するの要あると共に、其の事業の盛衰とか、財界の大勢例へば金融の盛衰、金利の高低、貿易の消長、景氣浮沈等にも留意せねばならぬ。

株式會社山叶商店は過去四十年間純たる
コンミツシヨ、マイチヤントとして立つて来たのである。此方針に従ひ着實、懇切、迅速を以て顧客本位の實踐を擧げつゝあることは愈々將來の大發展に備へる唯一の信條である。



東京の社何数株の通和場

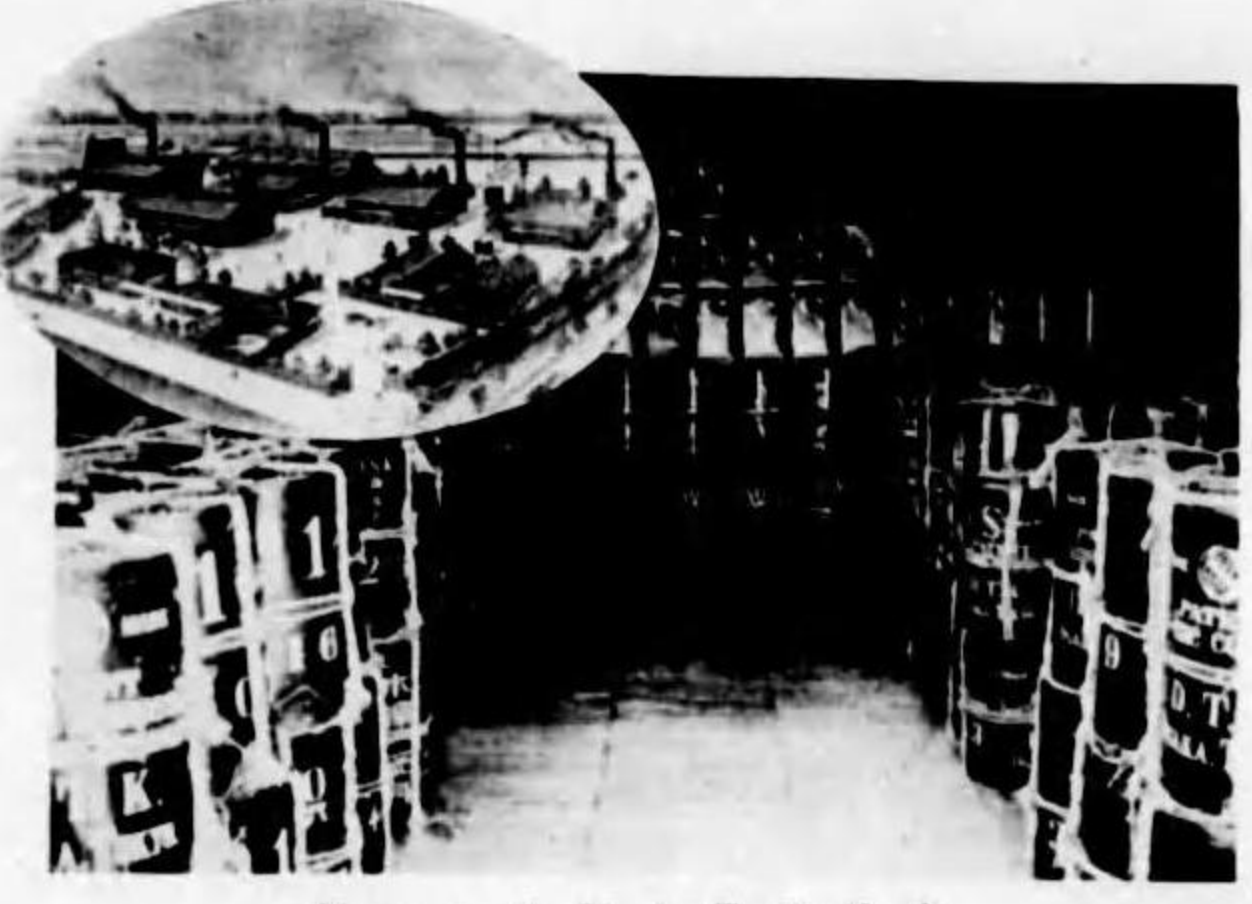


取締役社長 前田 二平氏
専務取締役 永野 護氏
取締役 長崎 英造氏
取締役 一木 力氏
取締役 松本 蒸治氏
取締役 河西 豊太郎氏
取締役 三田 尾松太郎氏
取締役 中島 久吉氏
取締役 根津 嘉一郎氏
取締役 太田 清藏氏

國産塗料界の重鎮

大東塗料株式會社

本社工場 長崎縣佐賀市外・田村長瀬 船尾新田
營業所 大阪府北區堂島 大阪ビルディング



四面海に圍まると、自らの持つ使命ではあるが、吾國の海運及造船界は日清日露の戦後異常の發展を示し、従つて船用品の需要も急激に増加したのである。是等、大部分は輸入品によりて漸くその急を補ひ、就中船底塗料の如きは完全なる國産品を求むることが出来なかつたのみならず大正三年以後歐州戰亂のため一時輸入品すらも求め難き状態のため吾國船業の困難は言語に絶し、茲に吾國の發達により國産優良塗料供給の策がたられたのである。即ち時の日本郵船會社々長近藤廉平君其他重なる海軍関係者が大正五年五月、同社を東京に設立して幾多の研究試験を重ね又大阪港邊橋本町に實驗場を設けて各種の海中試験を行ひたる結果其製成品が輸入品を凌駕する優良なる成績を示すに至つたのである。爾來日本郵船大阪商船の指定品となり他の汽船會社よりも注意増進の機運に會ひ大正七年船底の關係工場を船尾新田市に移轉擴張して製品改良を計り大に塗料界の使命に向つて一躍邁進の盛況を示しつゝある。尙船底防錆塗料製造の經驗を基礎として「ホルドベイト」「デフカベイト」「アップベイト」を初め建築塗料としてセクロン」「セトラ」「グラフアイトメント」防虫劑として「シーゲル」等を製造したところ建築界、土木界から非常な好評を受け前記船底塗料と共に日々需用の増加を看することは國産塗料界のために意を強ふるところである。

取締役社長 近山 謙三氏
専務取締役 山田 實氏
取締役 山田 謙三氏
取締役 山田 謙三氏
取締役 山田 謙三氏
取締役 山田 謙三氏
取締役 山田 謙三氏
取締役 山田 謙三氏
取締役 山田 謙三氏
取締役 山田 謙三氏

顧客本位と堅實一天張の

實証券株式會社と久保正治商店

東京市日本橋區坂本町三十一番地



社長 久保 正治氏
取締役 田代 保氏
取締役 田代 保氏
取締役 田代 保氏
取締役 田代 保氏
取締役 田代 保氏
取締役 田代 保氏
取締役 田代 保氏
取締役 田代 保氏
取締役 田代 保氏

現代の資本主義經濟組織に於ては殆ど産業の總てが株式會社の力に依つて經營され、我が國有價証券の總額は國富の二割以上を占むるに至り此等證券流通の調劑如何は産業發展の上に直接至大の影響を及し證券市場の使命實に重大にして之が構成機關たる取引員の任務亦至重なりと云ふべく茲に同店は多年の経験と多大の信用の許に一意堅實を旨とし證券取引の眞髓に立脚して顧客の利益のために其の使命を完せん事を期し、曷時勢の變遷に應み汎く内外國債、地方債及株式の實物買賣並に引受募集業務の擴張を計り昭和三年十一月資本金百萬圓を計り昭和三年十一月資本金百萬圓全額拂込の證券株式會社を創立し此等の業務を分擔し社長久保正治氏之れが統率のもとに夫々特殊の技能と深奥の經驗を有する社員をして之に當らしめて萬全を期し、茲に清算實物の理想を實現し常に店礎の強大に意を用ひ信用第一とし顧客の證券投資上の親切なる相談所となり、安心して取引の出来る店として堅實なる信用を講はれて居る。即ち同店を代表する社長久保正治氏の強き正義觀念と兼業がそれである。而も同店は古き歴史を有する株式取引店として一増の自重を意味する營業方針をとりつゝある。

東京株式取引所一般取引員
短期、實物、國債、取引員

久保正治商店
實證券株式會社

電話 芝草場 八八八八番
電話 芝草場 八八八八番
電話 芝草場 八八八八番
電話 芝草場 八八八八番
電話 芝草場 八八八八番
電話 芝草場 八八八八番
電話 芝草場 八八八八番
電話 芝草場 八八八八番
電話 芝草場 八八八八番
電話 芝草場 八八八八番

電氣化學工業株式會社



本社 東京市豊町區丸の内三丁目二十番地
出張所 大阪市東區高麗橋二丁目
出張所 大正市有明町
出張所 朝鮮京城府黃金町一丁目
出張所 新潟縣西頸城郡青海町
工場 富山縣射水郡伏木町
工場 電氣化學工業株式會社大牟田工場
工場 電氣化學工業株式會社三井物産株式會社
工場 電氣化學工業株式會社伏木工場

取締役社長 藤原 銀次郎氏
専務取締役 田中 治郎氏
常務取締役 近藤 謙次郎氏
常務取締役 岡田 治郎氏
取締役 大橋 新太郎氏
取締役 植村 澄三郎氏
取締役 牧村 幸三郎氏
取締役 馬越 幸三郎氏
取締役 黒川 幸三郎氏
取締役 日比 幸三郎氏
取締役 縣 左治郎氏
取締役 中島 治郎氏
取締役 原上 治郎氏
取締役 吉吉 治郎氏
取締役 吉吉 治郎氏
取締役 吉吉 治郎氏
取締役 吉吉 治郎氏
取締役 吉吉 治郎氏
取締役 吉吉 治郎氏
取締役 吉吉 治郎氏
取締役 吉吉 治郎氏
取締役 吉吉 治郎氏

科學的經營の尖端
東京製菓業界の雄

竹内の折詰とその業客

優良製品に對する噴々たる好評と
製菓衛生化の理想に躍進する新人竹内氏

近時國民の衛生思想が發達したことは驚くべき趨勢を示して、一國民健康の確立に努力を捧げて居る一般食料産業界の向上を鞭撻して来たのである。これを國家的觀察よりして論じると、誠に慶ぶべき近代國民意識の一大收穫と言ふことが出来る。



東京菓子業聯合會 理事 竹内 義一 氏

就中菓子製造の發展進歩は凡ゆる條件に於て他の食料工業に對し優越を認め、新らしい發明工夫乃至は新案を生み、而してその營養價値の使命に躍進する製菓業者の不斷研究努力や偉大とせねばならぬ。これを考へるとき、一片のビスケットすらも尊きに至誠の結晶であることを忘れてはならぬ。即ち美味を條件とするためには味覺の研究に餘念を忘れ、保存に對しては營養價値の變化的變化を防ぐために化學的實驗を重ねる等、これらの努力は枚擧して遑なきまでに、斯業發展の裏面には幾多の苦心を藏するものがある。こゝに本書編輯に方り録して我製菓界の一頁を飾り、かつ製菓業者としての紹介に資せんとする竹内商店こそ斯界の雄として我業界に活躍し、店主竹内義一氏の新人振りはその營業全般のうちに溢り、常に斯界に先駆けて新製品の發見に鋭意を向け、また同店宣傳部に於ては竹内報章と題する冊子を發行して自家製品の宣傳に資する一方内容の大半をなす記事は事業研究或は商品決定に關する知識の向上、または商店經營に對する研究發表等は實に斯界を益するものにも竹内商店の理解を廣く同業者間に求めて氏が理想とする共存共榮の實を擧ぐるに大なる事業の一つと言ふべきである。而して同店が多年の經營と氏の經營哲學は不問難離の原則をなしてその繁榮の寄つて来る處必ず氏の企圖に一致するは、以て氏が商道の秘訣を収めたる尊き勳勳ともいふべきである。想へば大正十年同店の創業を見れば、今日の竹内商店の異常なる發展に實に驚異に値するものがあるべきである。

國産優良品としての一般型硝子食器

西田硝子製造所の躍進

海外市場に外國品を壓倒す



支那人西田 平造 氏

最近硝子藝術たるカットグラスの大衆生産に於ては我國有数の完備せる大工場に於てのみその能力を持つもの、で斯業の將來は實に大發展の運命と研究的努力の期待に満たされて居るべきである。此に於て斯界に三十年の歴史と優良品生産の信譽を符ふ西田硝子製造所こそまさに國産硝子工業界の權威としての特筆を擧げざるべきである。同所は大阪府東淀川區長瀬通一丁目日本工場を置き、東京分工場を有し、所主西田平造氏の經營するところにして、同氏實弟平造氏これを補佐し主として東京、大阪兩工場を支配人を兼務、克く協力の實に依りて業績益々擧がるものがある。而して同所は一般型硝子、食器類をその主要生産とし、年額約四十萬行を製造、その大半は海外に輸出され、世界の市場に外國品を壓倒して大に本邦製品



西田硝子製造所全景

る。而も商取引に於ては同潤滑脱、自己省察の信念に富み、義理に篤きこと、も從業者を擁して慈父の情を盡すの徳望は廣く一般の信用を博するところとなり、擧げられて全國菓子聯合會代議員、東京菓子同業組合評議員等の外公務に於て下谷風神健町會計の名譽職にあり、常に公共のために一身を捧げて東京奔走、身邊まことに多端を極むるところ活動的勇男子本來の面目を誇るものがある。

竹内商店の取引法とサンプルボックス 卸賣問屋對小賣店の取引は同潤滑にして簡便に行ふことほど心地よいものはないと言ふ信條のもとに同店は顧客が安心して取引が出来る様、難かき條件等一切を抜きにして、つまり「オイル」と取引出来る事を營業方針の大策とし、一度の注文により希望通りの商品を間違なく發送し、數量によりは希望の注文品を作成して萬一仕入の誤りでも生じた場合は即期協議の上取替へを實行し現代的商業道徳の範をなして常に注意萬端怠りなく殊に食料の事であるから至れり盡せりの常儀的取替を行つて居る。また發送に際しても指定する方法を確く守り、荷造り等に於てはその親切實なる點に於て他の追従を許さず、通信以外の注文に對しては年中十數人の外交員の活動に依り顧客との連絡を密にし、現在營業の統轄は關東北海兩方面を直轄區域とし、中京以西の一部は代理店を通じて取引を行ふを原則とし、特別の場合顧客の便宜を圖る方法は時宜適切な相談に應じていやくも希望に輝くが如きことは絶対にないことになつて居る。「見本箱の發賣」科學的經營法の一つとしてサンプルボックスの發賣をなし初取引の顧客に於てカタログのみにて得心の行かない場合の參考に供し、名稱は見本箱なるも現品と何等差異はなく立派に店頭に出して販賣出来る商品である。要するに其貨物を示す商品を十四種から十八種位の程度に組合せ一箱とし価格は八圓を標準として時期に依り二三割の増減を見ることがある。斯くして小賣店では比較的少額の注文でも多數の種類を得ることが出来る。要するにサンプルボックスの本名を保持しつつある。而も洋菓子我國風化して進物を通せるよう改良せしは實に同店を以てその開祖とせられ好評噴々として努力は酬らる即ち全國菓子聯合會主催第六回菓子品大品評會を始め昭和三年東北産業博覽會、同年大日本勳業博覽會、第一回國産製菓品評會等外幾多の博覽會に於て金銀賞牌等を受領し、就中聯合會主催の大品評會に於ては其後引續き受領の榮冠を保持せるは多年業界に盡してその聲譽を擧げられる同店の光榮を記録する所以である。

製品種目覽

都	菊美野	新メキスト
玉	御所柄	松竹梅ゼリー
コーヒ	角砂糖	宇治かほる
養老の友	秋の月	宇治の里
フルツゼリー	涼風	四季の花
八千代	ココアメキスト	バナナ折
松竹梅	立川	メリーポップス
紅葉	狩野	メリーポップス
初音	しるこ	新カルルス
	月	江戸の華

本邦北端の産業界に雄飛する

樺太工業株式會社

同社は大正二年十二月の創立にして當初泊居工場に於て専ら紙料の製造を営みしも、若し此を加して直に製品ならしめば乾燥荷重卸解等の各種工程を省略し歩留り亦良好著しく生産費を低廉ならしむるのみならず、紙質強靱無類の製品を抄出して天下獨歩の地位を得ることを確信し、遂に眞岡の地を相して同工場の建設を企劃し、大正七年融雪期を待つて起工、越て八年九月上旬工成り、同月十三日試運転式を擧るに至り、實に是れ本島に於て上質洋紙を抄造する第一日として、樺太開拓史上に特筆せられ、永く記念せらるべき日なり。

爾來期間に操業を繼續せしが不幸にして大正十年五月八日祝儀の災に罹り全工場を烏有に歸し、一時全く製造を中絶するに至りしも、勇躍直に復舊工事に着手し、従業員必死努力の結果、工事は異常の勢を以て進捗し、僅後僅々三百日間を出ずして竣工、大正十一年三月再び製造を開始するに至り、新設工場は前廠に難み建築は總て不燃質とし、諸般の設備改善に意を致したるを以て、單に火災に對する憂なきに至りたるに止らず、能率の増進原留の節減等、一として開闢する所なく、現時本邦印刷紙製造工場中の白眉として世上に喧傳せらる。

位置地勢・氣候・交通

同工場は眞岡郡眞岡町南濱に在り、町は本島南端西能登町を北に距ること七里、廿八町、都府郡界を距る、九里餘の位置にありて、人口壹萬參千を算す。背面一帯急丘起伏し、前面は一帯帯水の種和海岸を隔て、當鎮海濱に對峙す。北緯四十七度の地點に在るも、南北に走る分水嶺は東海岸よりの寒風を阻止し之に加ふるに暖流の影響に依り、嚴冬の期と雖も海水凍結することなく、冬期に於ても製品の移出用物資の移入に此の支障なく本島に於ける工業地として絶好の優地なり。

確實で面白く有利な貯金
無擔保で手軽で低利な資金

共盛無盡株式會社

歴史と信用を誇る其業績
基礎鞏固と取扱ひの親切

無盡は貯金と金融との両方面を兼ねた現代生活の上で適切な貯蓄をもつ唯一最良の金融機關であり、あらゆる資金の融通に對して無盡が一番の選擇とされて居ることは近時金融制度一面の向上をもつて居るものがある。而してその掛金は會員の抽籤入札によつて順次受取ることの出来るのがその特徴の一つであつて、ことに無擔保で依りたる金を使ふことが出来ると言ふのが極めて便利である。その上その利息は元金は月々の積り積りで返金するのであるから、確實、有利、楽しまの最もよく調和された制度として廣くその利用を見るようになったので、政府に於ても無盡の健全なる發達を保護するためと不良無盡に件ふ弊害を防止する目的で可成り嚴重な監督をして居る。そこでは有利な金融方法でもそれ加入する會社を擇ぶことは加入者にとつて一番注意を要する問題であることは言ふまでもないことである。こゝに推して紹介に資せんとする共盛無盡株式會社は幾多同業會社中でも有名なる會社で、すでに堅實なる業績を擧げること二十餘年の歴史を有し、大體省に於てもその優良會社たることを認め、また加入者本位の同社營業方針と取扱ひの便利、簡便、親切は全加入者の等しく賞讃することにして、如何に同社が忠實なる大衆的金融機關の使命を遂行しつゝあるかを如實に立證し得るとともに噴々たるその好評は多數の群小會社をはるかに抜くものがあるのも既に述べたる意味よりして當然とせねばならぬ。



氏 雄 經 關 長 社

ついでに此の便利有益なる無盡に就いての諸規約中加入に關して早解りの部分だけこゝに掲げて讀者の參考に供することも意義あることとして掲げ置く、即ち模範的なる共盛無盡の加入規約より抜粋したもので次の通り。
加入は申込書に署名捺印の上、證據金を添へて申込めばよいのである。當日の掛金を拂込せぬと抽籤入札が出来ぬから、必ず手押参を必要とする。會日に出かけることが差支の場合は集金人を出すことになつて居る。集

金人は加入者に代つて抽籤入札をなし、其結果を報告す。
會日迄に掛金を拂込した人には、毎回抽籤に依つて掛金獎勵金を出す。五百圓會費千圓會は七割、二千圓會費千圓會は七割五分を限度し、例へば五百圓會は三百五十圓、千圓會は七百圓、二千圓會は千五百圓、三千圓會は二千二百五十圓で、(同額の入札があるときは抽籤で決める)
落札手取高と契約金との差額は約款に従つて割戻し、次の掛金に充當す。落札に給付を受けた人に限り次回よりの割戻金を出す。當該しても入用のない場合は其権利を他へ譲れば甲式千圓會は二百圓、乙式千圓會は百五十圓、丙式千圓會は六十圓、但初回に限る。以下同進むにつれて漸次低下し入札も相當な権利金を得られるのも面白い。當該又は落札によりその金を受取るには、東京府下居住の相當資格ある三名の保證人を要す。丙式には保證人の外擔保を要することになつて居る。給付迄には前項の資格調査を終りたる後三日を要し、若し手續に暇とれば決り支取遅れることとなる。解約のときは契約金額の百分の二の手續料と入札差金を控除した實掛金を其會の満了後に拂戻すから損にはならぬわけである。未だ無盡の金を取らない人には通帳を擔保として融通をする落札會日、時刻、社告、其他一切を毎回日報にて通知して加入者の便宜を計つて居る。



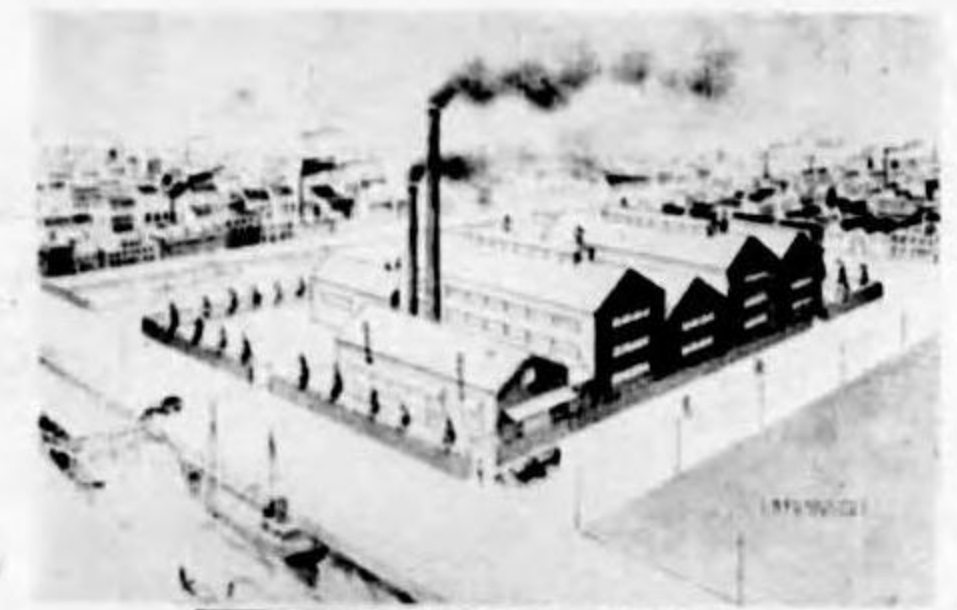
共盛無盡株式會社

- 共盛無盡株式會社役員
- 取締役社長 關 經 氏
 - 取締役 井 直 氏
 - 取締役 須 藤 伸 次 郎 氏
 - 監査役 堀 虎 一 郎 氏
 - 監査役 小 野 圭 吉 氏
 - 支那人 加 瀬 彌 太 郎 氏

無盡は儲けよく利息を運用したいとき、手紙に金銭の融通を受けたい場合、住宅の新築、開店、結婚の準備に、御子様の誕生祝に、教育費に、老後の幸福と安楽を得るために

- 出張會場所在地
- 本所 東京府四町目五番地(市電江東橋停留場前) 市外五ノ井五六〇 改定中
 - 四谷區新宿一丁目東京中丸(電話四四五六)
 - 市外鎌倉市丹後七番地 中村方(電話四六四四)
 - 市外池袋四番地(池袋三ノ宮)
 - 戸塚市戸塚二丁目早稲田車庫電話五五五五
 - 芝區高輪町六十五番地(電話高輪五五二)
 - 下谷區入谷町三十九番地(電話下谷三二二)
 - 市外西區町字宮前二丁目(電話高島二二二)
 - 市外千代田町二丁目 小松亭
 - 麻布區高輪町二丁目 小松亭
 - 市外千代田町二丁目 小松亭
 - 市外千代田町二丁目 小松亭

道路文化を生みぬだす
大日本アスファルト工業株式會社



同所のアスファルト工場は遠く大正十一年東京に於て研究所の設け工場を設立して其製造を開始し翌十二年關東大震災により全滅の悲運に遭せしも、爾來製品の完備を期し不憚不屈の研究に長年月を費し遂に自信ある優良品を得るに成功せしを以て昭和二年十二月株式會社大日本アスファルト工業株式會社を設立し海陸の交通に便なる大阪港口に近き安治川畔工場を設けて、精製機械設備をなし各専門技術家を聘して製品の向上を計り、翌三年五月に至り製品を市場に出すや、急ち品質優良にして價格廉潔なるを認められ従て工場設備の擴張を餘儀なくせられたり、故に昭和四年社名を大日本アスファルト工業株式會社と變更し新たに道路部を設けて一般道路工場の請負業務を始め、業務の充實を圖れり。次で昭和五年一月現下國策上の大問題とされる産業合理化の主旨に基づき本邦アスファルト工場製造の鼻祖ロウタアスファルト工業株式會社(大正十年創立)と敢然合併を遂

同社大阪工場全費及び同社製アスファルト工場補修費

本邦唯一のリノリウム工業界の覇者
東洋リノリウム株式會社

方今我國の建築物は著しく歐化し、その技術も建築、採光、暖房、汚浄水化等、高級に反り微細にして徹底的なる研究を見つゝあるが、只床の問題は動もせば輕視さるゝ傾向を認めないわけには行かない。床の如何は、直ちに居住者、執務者にとつて、その衛生上に或は事務能率上等に就いて甚大なる影響を與へるものにして、例へばコンクリート床、リノリウム床、コンベス床等の如き硬床は頭腦を強く刺激し、疲勞を覺へしめ且つ非保温性の爲め、往々脚氣症を起し或は腎臓を害する等の障害があり、又板床、コルク床等の如きは腐朽崩壊され易く、其間隙に塵埃がたまり汚染し易くして非衛生的の云はねばならぬ。故に歐米諸國に於いては床の問題の解決には深甚の注意と研究を拂ひ最も理想的床材料としての好條件を具備するものとして、リノリウムは既に六十餘年の歴史を有し今日廣く採用されてゐる次第である。然して近時我物に於いてもリノリウムの需要は、日に増し旺盛となり、昔に建物の床敷のみならず汽車、軍艦、汽船、電車、自動車其他各種用手術室、化學工業の分解室、礦石淘洗機、紡績機の一部にも使用せられ、天井、柱等にも利用せられ、其の用途の増進は遂に大規模のリノリウム工業を要求し、遂に大正七年現同社常務取締役寺西福吉氏は多年リノリウム製法に關して研究中山口吉郎氏兵衛氏の後援を得、アメリカン、リノリウム會社に於いて、現取締役兼技師長井春四郎氏と共に其製法に就き、親しく研究を重ね、大正八年十一月、山口吉郎氏兵衛、寺西福吉、坂野兼通、アメリカン、リノリウム會社技師ジ、ユ、パーカー氏を聘して諸般の設備を整へ、爾來社運の隆昌と共に漸次規模を増大し、資本金二百萬圓、兵庫縣川邊郡伊丹町に本社及び工場(敷地九千二百餘坪、建坪一千八百餘坪、動力六百馬力)を置き、大阪營業所(大阪市東區瓦町口ルビエビル)、東京營業所(東京市京橋區京橋四丁目口ルビエビル)を東西に擁し、福岡、名古屋に出張所を設け、生産能力一ヶ年二百萬平方碼に昇り、販路としては内地は勿論朝鮮、滿洲、支那各地及南洋方面にも及び、現今同社の販賣數量は我國需要高の九割強に當り、輸入は僅か一割弱にして其の多くは同社にて製造せざる様もにして、我海軍省は、大正十一年七月二十八日附を以つて同社を唯一の指定工場となし、其後鐵道省の指定工場たるの光榮を擔ひ眞に邦國産業界の發達に資したる大會社にして、其設備を歐米の最新式に範り、精巧なる機械を使用し原料は主として内地品を用ひ、鋭意研究を續け改良に精力を以つて、今日に於いては外國品に比し何等遜色なきのみならず、寧ろ優秀なる製品を市場に提供し、専門技術家、建築業者の實地試験と使用とにより、益々其價値を認められ爾來官公署の建築物に勿論、銀行、大會社商店等のビルディングの床敷料として使用せられ、其品質に於て、又價格に於いても正に輸入品に代るべき國産品として、世界の眞實を博し最初の理想に向つて榮々其歩を進めつつある我が國唯一のリノリウム會社なり。

- 常務取締役 寺西福吉氏
取締役 加藤正四郎氏
取締役 山口吉郎氏
取締役 坂野兼通氏
取締役 井春四郎氏
取締役 加藤小太郎氏
取締役 町田義夫氏
取締役 長井春四郎氏
取締役 吉村直造氏
監査役 今井兼太郎氏
監査役 淺井三郎氏
監査役 越野嘉藏氏

世界的造船界の權威 川崎造船所の沿革

我國造船、海運業の先覺者川崎氏は、堅牢、快速なる西洋型船舶と稱する和船とを比較研究し一方其優劣の差異甚しきを見て驚いたが地方當時の國情なる我國海運業者依然として和船のみを多く用ひ其結果西洋型船舶の建造が遅々として著る振ぬを知り邦家の爲めに大に慨し氏は五百石積以上の和船建造を禁止し西洋型船舶建造獎勵の我が國發展上刻下の急務なることを斷頭前島密氏に對し極力建言した處同輩諸君も大に之に賛同して同力を激勵すると同時に東京地元の官有地を造船所敷地として川崎氏に貸與したので氏は大に其の壯圖を期し獨力を以て此所に築地川崎造船所を設立した。時に明治十一年五月であつて是れ後日我國の斯界に旗幟を樹つるに至りたる川崎造船所の濼源である。

茲に於て鋼製汽船及諸機械の註文も一層其數を加へ従來の工場のみには既に賡續を告ぐるに至つたので明治十三年には兵庫東町の官有地を借用し同地に兵庫川崎造船所を設立し、又同十九年には政府より兵庫造船所を借用し、同二十年には余額之餘が拂下を受け、先に築地及兵庫に設立せる兩川崎造船所をも此所に移轉し、全部合併して之を川崎造船所と改稱した。川崎造船所の基礎は此時つく成れりといふべきであつた。

明治廿九年其組織を改めて資本金貳百萬圓の株式會社となし同時に川崎氏の個人經營時代は全く其終を告ぐることとなつた。同所が創立以來會て外人の手を借らず斯の如く次第に發展し來りし一事は我國造船界上に特筆すべき點であらうと思はれる。

同社は株式會社に變更せらるゝや換方幸次郎を擧げて専務取締役社長としたが同氏は夙に歐米に學び後屢々彼地に遊歴し歐米先進國に於ける商工業の實狀に類する通譯して居り氏は社長に就任する。川崎正藏氏の意圖を繼ぎ或は船隻を穿ち或は造船廠を増設し或は工場用諸機械を増加して遂に工場を整備、規模の完備を計り又外國より有望なる製造廠を買取許諾を多數購入して益々事業の發展を期した。幸にして我國は日清、日露、日韓戰爭の三大戰を経過し同力も次第に強大を來し我産業も偉大發展遂げた結果益々諸般の註文も幅濶し造船工場のみを以てしては到底此の需要に應ずることが不可能となつたので即ち明治廿九年には兵庫工場（現川崎車輛株式會社）を設立した。而して大正八年には同社船部を擴張し川崎汽船株式會社を創立し兩海運界に活躍して居る。固より財界の動搖に伴ひ時に事業の消長あるはまた數の免れる所であるが上記諸工場は現在に於ては何れも日本資本世界に於ける斯界の一流工場として盛大を極めて居る。従つて同社資本金も其後次第に増資せられ現在の公稱資本金は九千萬圓（内拂込資本金四千四百萬圓）に達して居る。同社は如斯繁榮を來すに至りましたことは一には勿論時勢の然らしむるところではありますが一には余々松方前社長が其在任中に於ける苦心經營の結果でありまして我々としては同氏の業績は永く記憶せらるべきことである。然るに同氏が昭和三年中途に當社社長を辭せられたことは誠に惜みても餘りあることである。

現社長廣島房次郎氏は業望に依り神戸市長に就任せられたること引續き三回に達し今尙關西實業界に於ける第一人者であり其名望、關係に



(上)世界有数の大規模、完全なる設備を誇る同所の全貌。(下)同所船工集合景



至つては世に知らるゝ所である。同氏は社長に就任以來社務に精勵し又營業方針に於ては現下の經濟界に對し最も適切なる方法を講じて以て一踏一進の隆昌の爲めに努力せられたりある。

同社は既述に於て大は噸數加算排水量四〇〇〇噸、同伊勢三二、六〇噸、南洋艦隊機五二七、六一噸及日本郵船株式會社安藝丸八八噸（總噸數一八八三噸、同廣島丸一〇、五五八噸）を初めとし株式船隻更後今日迄既に總計五九〇隻以上の多數の船舶を建造した。又汽機、汽鍋、タービン、ディーゼル機、蒸氣、電氣機、自動車、貨車、電車、飛行機、飛行艇、發動機其他諸機械類、橋樑其他の註文引請も夥しき數に達して居る尙ほ厚鋼板、海鋼板の年産額も前者十二萬噸、後者二十萬噸合計三十二萬噸に達して居り同社は永年上記諸般以下各種生産品を以て獨り我國に於ける國內の需要を充して居るのみならず又隣邦中國に於ける需要を充し英米等の先進諸國に對しても之を輸出して以て我が技術を廣く海外に紹介すると同時に我が國力増進上大に貢献して居ることを誇るものである。

川崎汽船株式會社

資本金 貳千萬圓
地球を被ふその航路



船物貨的代表社株式會社川崎汽船
(建造所船造川丸馬政船ルビーチ)

専務取締役社長 廣島房次郎
取締役理事 奥山儀一
取締役 山本盛正
取締役 石井清也
取締役 安部正也
取締役 藤井總太郎
取締役 信濃榮三郎
取締役 太田保太郎
取締役 日良恒
監査役 小川榮太郎

光榮に輝く

日本自動車學校の沿革

〔東京蒲田町〕

大正五年の秋、本邦飛行界の進歩發展を促さん目的にて、現校長相羽有氏、日本飛行學校を創設し、飛行機設計製技術社の養成事業を開始するや、大方の推挽奮然として到り、飛行練習生を養成し三十有餘、飛行機を建造すること五臺、其の間、屢々帝都の上空を飛行して東京市民の覺醒を促し、或は空中に機電報の快報を試み、空中國防の急を告ぐる等、民間飛行界の中堅となり活躍したが、それより星霜を閲すること十有六年、あらゆる苦心經營の結果は、技術優秀なる飛行機操縦士及航空機關士多數となりて官民航空界に一大勢力を扶植し、いまや飛行機御けるところ必ずや同校卒業生の活躍する盛況を期し、政府の公認せる最高唯一の飛行學校として他に比類なき誇りを獲り得た。



校長 相羽有氏



我が相羽校長は幾歳の健兒を輩出するのみならず東京航空機設計會社を創始して社長たり。水上飛行機を東京、伊東、下田、沼津、清水間に飛翔せしめて旅客及貨物の定期輸送に成功しつゝあり、更に静岡縣の屬託たる命を受け通信省及農林省の獎勵によりて太平洋海上に魚群探見飛行の壯快なる計畫を實施完成しつゝあり、茲に我が卒業生は幾層し、男性的活動に勤著す、また愉快ならずや。



飛行機上を於ける所長相羽有氏



廣大なる規模と設備の完全、まさに東洋一の稱ある同校立用飛行場に於ける同校生練習飛行の壯觀。

公認日本自動車學校 飛行機と自動車とは、その關係密接なるを以て、飛行術として必要とせらるるものも進み、毎年歐米より到着する自動車數千臺に達するも、之れを運轉し手に入らざる者多し、斯業者は頗る困難を感じ、之れが養成を同校に要望し來れるものが輩出し専門家を以て設を同校に依頼し來れるより、相羽校長は斯界の今日に至る運轉し、茲に東洋最初の自動車實地教授を開始した。

皇族殿下御七度台臨の光榮 大正十年一月三十日山階宮武彥王殿下には、賀陽宮恒憲王殿下御同伴にて同校に御台臨の榮光を辱うした。兩宮殿下には、海軍武官、宮内事務官を隨へられ、校門前に整列せる三百餘の學生一同に御會禮を給ひ、金色燦然たる便殿にて、有難き御言葉を賜はり、校員學生一同は感泣の外なかつた。相羽校長は

謹しみて總ゆる教授設備を御覽に入れ奉りしに、同校教授の飛行機及び自動車に關する御前講演を始終の御御手帳あり、御機嫌はしく親しく自動車のハンドルを把りて御御運遊ばされた。明るく日、相羽校長を御召あり、親しく拜講を賜はり、事業上に操縦なる御獎勵の御言葉を給はり、同校へ御下賜金ありたるの光榮に浴したるのである。

回顧すれば、大正六年、同校の創始時代に御台臨のことあり、今日まで七度の台臨を仰ぎ、全學生に御講話された。斯くの如き絶大なる光榮を有するは自動車學校として、獨り同校のみである。しかし航空及自動車正現教育事業に深く御思召あることを拜察し一層奉酬の念の切々として湧くものがある。

詳細は同校に請求すれば傳函を郵送す。電車東京、蒲田より二十五分

我國車輛界の元祖

川崎車輛株式會社の沿革

(神戸市和田山通壹丁目)

沿革

明治三十九年兵庫東尾池村邊河津岸に一萬二千坪の地を求め工場を建設し翌四十年七月開業川崎造船所兵庫分工場と稱し専ら同社建造の船舶用鋸物の製作に従事、同年九月機關車、客貨車、橋桁工場成るに及び船舶用品と共に鐵道用品も併せ製作する事とし爾來世の進運に伴ひ各種の施設を改良増備し大正三年一月一日川崎造船所兵庫工場と改稱して六月十一月船塢工場を新設し船舶用車輛用「ロッド」「シャフト」等の製作を開始又機械工場客貨車工場等の擴張相次いで起り茲に車輛製作能力著しく増大す尙同十三年五月に至り電氣製鋼爐の完成により特種鋼即ち「ツケル」鋼、「ノツケル」鋼、「ノツケル」鋼、「ノツケル」鋼等の製作を開始し昭和三年五月川崎造船所より分離し川崎車輛株式會社と改稱し今日に至る其の數他五萬七千坪建物二萬坪に達す。

機關車製造の概略

機關車製造に着手せしは明治四十二年にして時の鐵道院より四〇〇型機關車十二輛製造の命を受けたるを以て嚆矢とす。

大正二年鐵道院古川技監より其の成績の優良なるを稱せられ「明治四十二年以來當院註文の機關車架水車を製造納入し其成績良好にして外國製に比し遜色なきのみならず最近納入のものに在りては寧ろ外國製よりも優れたり」と認めらるる點少なからず」との御褒詞を得たり。

大正三年には鐵道省を首め臺灣鐵道部に内務省土木課等の御用品八十三輛を製造し其の數俄に激増せり其後技術の研鑽と諸般設備の充實を計り其製造能力益々加へたり。

大正八年より機關車の需用頗る増加し諸官廳諸會社より續々御註文の榮を得同十一年に至り支那山東鐵道御用廣軌二・八〇型機關車の製造を見たり之海外へ輸出したる始めなり越十二年には吉長鐵路局に滿鐵、京城鐵道局等の廣軌機關車の納入を終へ次で滿鐵二・八〇型機關車四輛を製造し支那滿地方の販路擴大せり而して十



車關機第貳八三入納社同用御省道鐵

三年七月二十三日落成の鐵道省二・八〇型機關車第壹號を以て其數實に壹千輛にせり。

大正十三年には富士電氣會社より五噸電氣機關車三輛の註文を受けたり當所最初の試みなるに不拘純國産品として非常の好成績を収め得たり。

大正十四年に至り七十三噸、四十噸二十五噸等の大型、中型の電氣機關車の註文を受け南洋鐵道會社、日本電氣會社、伊賀鐵道會社等へ納入し他方蒸氣機關車は鐵道省は勿論臺灣總督府大日本製鐵會社等の納入を了へたり。

大正十二年以來支那方面の販路漸く擴大し支那漢口鐵道局を初め吉敦、呼海、吉長等の各鐵路局及臺灣總督府より多數の註文あり何れも昭和元年迄に納入したり。

昭和二年に入りて武蔵野鐵道富士身延鐵道、伊勢鐵道、上田温泉電氣鐵道會社等の電氣機關車に鐵道省朝鮮總督府其他諸會社等の蒸氣機關車を製作納入す。

國際通運株式會社

壹地番拾貳目丁貳内ノ丸區町麴市京東

取締社長	中野金次郎
專務取締役	吉村佐平
常務取締役	小幡鐵介
取締	竹島銀太郎
同	吉田秀次郎
同	島村淺夫
同	村田省藏
同	千秋寬
同	岩倉具光
同	山口壽
同	山本吉五郎

本邦金庫並に鋼鐵家具界の重鎮

株式會社佐倉金庫店



常内 務山 取英 務山 氏

創業五十餘年前
資本金一百萬圓
鋼鐵家具界の先覺者
オール、スチール金庫元祖
諸官省特別御指定品

株式會社佐倉金庫店は、今より五十餘年前先代佐倉千吉氏の創業に係り、斯界に於て最も古き歴史と長き經驗とを有する老舗である。

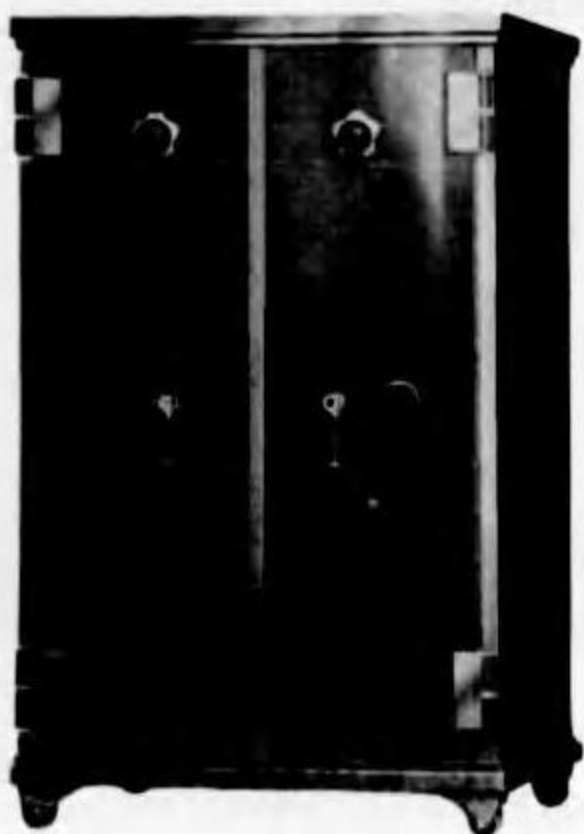
而して、其間常に品質本位を唯一の信條として眞摯誠實に終始し、一面又、金庫並に鐵原の改良進歩に先驅を爲し、高級金庫の代表的製作者として、斯界に絶對的權威を爲しつゝあつたが、大正十四年更に業界に先立、邦製金庫の致命缺點とされ居た鑄鐵使用を全廢して輕量オール、スチール金庫を創造し、國産オール、スチール金庫の元祖として、許さるゝ事となり、業界に益々重きを加ふるに至つたのである。

同社は、此の超越的最新優良金庫の出現を機とし、兼に資本金壹百萬圓の株式會社に改め、横浜市神奈川區青木町鶴屋町の地をとり、新式設備を完成して、名實共に東洋唯一の工場を建設し、時運に順應して大いに雄躍しつゝあつたが、近時國産獎勵産業合理化の聲益々高きに當り、更に品質の改良と工場設備の整頓とに精進し、其製作の合理化に努め、眞に斯界の指針者として、國際的に奮闘して居る。

斯くて同社は、金庫に於ては其品質に於て、製作技術に於て、殆ど初期の目的を達成する事を得るに至つたので、續いて昭和元年鋼鐵家具部を開設し、之に必要な萬般の専門施設を充實し、金庫室内設備、書庫室内設備、書類戸棚、衣服戸棚、文書匣、圖面匣、書架等、金庫と同系に屬する姉妹品とも稱すべき、鋼鐵家具類の製作を開始した。爾來益々研究を重ね、名實共に他の追従を許さざる優良品を製出し、遍く聲譽を納めて、諸官省銀行會社等より多大の信用に接して居る。



場工店庫金倉佐社會式株



ルース、ルーオ 庫金倉佐

日本政府實用新案登録
No. 98255 No. 98265
No. 104025 No. 116002
No. 119549 No. 15722
No. 135731
日本政府 意匠登録
No. 28831 No. 28832
日本政府商標登録
No. 66515



具家鐵鋼倉佐

日本政府專賣特許
No. 4808 No. 5783
No. 15934 No. 3849
No. 65867 No. 69355
外國政府專賣特許
(實)No. 25358 (業)No. 73699
日本政府實用新案登録
No. 35700 No. 36317
No. 38331 No. 62114

營業種目

鋼 鐵 製 家 具 各 種
オール、スチール佐倉金庫
オール、スチール御眞影奉安金庫
佐倉式オール、スチール金庫
クラシク式金庫
庫室庫

- 株式會社 東京市京橋區松屋町二丁目八番地 電話京橋 56-1333 四番
- 株式會社 佐倉金庫店 銀座陳列所 京橋區銀座三丁目三番 電話銀座 57-3073 三番
- 株式會社 佐倉金庫店 横濱出張所 横濱市神奈川區青木町鶴屋町 電話本局 2-1854 四番
- 株式會社 佐倉金庫店 工場 横濱市神奈川區青木町鶴屋町 電話本局 2-1854 四番

文化の殿堂・白聖の雄姿

株式會社 堂島ビルヂング

大阪市北區堂島濱通一丁目壹番地



大阪のアンザルビ島堂の堂島ビルヂングの正面

我が國商工業の中心地、大阪市の中樞を流る、堂島河津に聳立して、文化建築物の一傑をなす堂島ビルヂングは大阪ビルヂング界の嚆矢としてその巨大なる面積に於て又建築様式の最新と館内諸施設の完備に於て大阪洋式建築物の代表的存在であると同時に大阪名所の一つである。即ち館内は數百を以て算する貸室の外、關西に於ける代表的紳士社交團體である清文社、慶應クラブ、中山太陽堂等あり、又堂島の七、八階を占むる堂島ビルヂングは定員二百名の収容設備を有しその眺望の佳絶にして交通、通信機關の至便なること、茲に宿泊料の低廉は親切丁寧なるサービスと相俟つて内外一流紳士の認むる所であり關西に於ける代表的高級ホテルとして堂島ビルヂング中の代表的なものである。

海外ホテルには二百名を容るゝ大宴会場と三四十人以下に適する小宴会場、神前結婚場、同着附室、同待合室、同撮影場及結婚披露宴に要する特設の宴会場があつて、同ビルヂングが有する文化的價値は限りなく實に驚異に價するものがある。而も近時益々發展を見る婦人洋服界の巨匠にして在外二十年の経験を持つ平山芳太郎氏を校長とする堂島洋裁學院があり目下貳百五十名の生徒を收容して服裝文化の向上に偉大なる貢献を擧げつゝある。

其他館内には郵便電信局、銀行、諸會社、商店、社交俱樂部、藥店、醫館、美術院、理髮店、和洋食堂等一切の文化生活必需品は完備し日々出入する人數萬を以て算するの盛況を呈して居る。即ち我大阪ビルヂング界の王者たる所以

古き歴史と優良生産を誇る

日本製粉株式會社の沿革と概況

本社 東京市京橋區京橋三丁目



近代科學の研をあつて新工場建設の進展を
進出せる同社製粉工場の外景

我國製粉界の權威として自他共に許せる同社は斯界の鼻祖として明治初年に開設せられたる官製製粉所を繼承せるものにして同廿九年企業組織を變更し日本製粉株式會社と改稱せらる。當時資本金參拾萬、製産能力一晝夜二百バレルなりしが漸次業務の發展を見逐次工場を増設或は既設會社の合併を行ひ現在の土庫建物、機械等の資産は壹千八百四拾餘萬圓の巨額を算し全國主要の地に營業所及工場を有し壹ヶ年の生産高小麥粉二千五百萬袋、穀六百萬袋にして之が販賣に付ては三井物産株式會社を通じて内地は勿論、遠く海外にまで販路を有することなく加ふるに年次増大し行く業務の膨らみと相俟つて益々社運隆々文字通りに我國唯一の巨大なる製粉會社の面目に添へり。因に同社重役及營業所、工場左の如し。



取締役會長
安川雄之助氏
代表取締役
小林正直氏
代表取締役専務取締役
中村藤一氏
常務取締役
長谷川藤橋氏
取締役
田中寛氏
八尋俊介氏
田中文藏氏
監査役
葉谷英夫氏
御酒本徳松氏
相田駒吉氏

時計工業界の權威

株式會社 精工舎概要

服部時計店工場

本社 東京銀座二丁目
支店 大阪市東區博勢町

沿革

同工場は我國實業界の鐘錶部時計店社長服部金太郎氏の創立經營する所にして明治二十五年五月始めて東京市本所區石原町に設立せられ専ら掛時計の製作に従事せしが同二十七年現在の場所に移りし頃より懐中時計個の製作にも着手し漸次技術の進歩に伴ひ同三十二年には日覺時計を次で同三十五年には懐中時計機械を製作し何れも江湖の嗜好に投じたるを以て爾後次第に工場を擴張して生産を増加し以て一般の需要に應じたり

其間明治二十八年始めて掛置時計を支那に輸出するや大に好評を得しを以て次で印度南洋方面にも販路を擴張して比ぶものなき斯界の權威を獲得するに至れり、偶々歐洲大戰に遭ひ外國品の輸入困難となるや全力を盡して生産の増加を圖り國內の需要に應ずるの外更に遠く英佛其他の歐洲諸國を始め南洋及遠洲にまで輸出するに及び我國產品の優良を海外に宣揚して國際市場に名を吐くに至れり、されば大震災前當工場に於ける各種時計の生産能力は一、懐中時計年産高三十萬個、一、掛時計置時計年産高八十二萬個にして一個年の生産高僅に百萬個を超え其他懐中時計個及び需要品の製作にも従事し尙其余力を以て蓄音機、扇風機等を製作せしが大正十二年九月の大震災に遭遇し甚しく其災害を被り同工場が全部灰燼に歸したるは實に我國産業上の一大痛事にして萬難を排して復興の急を叫ばれたり、而して災後従業員は心を一にして鋭意復興を圖り大正十三年四月には早くも掛時計の生産を見同年八月には日覺時計を翌十四年七月には九型腕時計を十五年十月には十六型懐中時計及十型腕時計を製出し以て漸く舊態に復するを得たり、而かも其の技術は年と共に益々精巧を加ふるに至り機械設備の完備と相俟て飛躍的の進歩を遂げ之を震災前に比すれば殆んど隔



【一ヨイセ】計時器國産的の代表



世界の最新の時計工業の設備を示せる精工舎全景

工場規模

一、工場敷地 本工場 七七二五坪 計九、二九二坪
木工場 一、五六六坪
二、建物 本工場(機房) 六、四四三坪 計九、〇三〇坪
木工場 一、八三三坪 七、四九坪

三、機械 二、三九四臺
四、使用電力(電動機) 八〇三馬力(二七零)

製産品目及一ヶ年生産高

一、懐中時計(腕時計ヲ含ム) 三十一萬個
二、掛置時計 九十八萬個
三、蓄音機、蓄音機等

就業員數

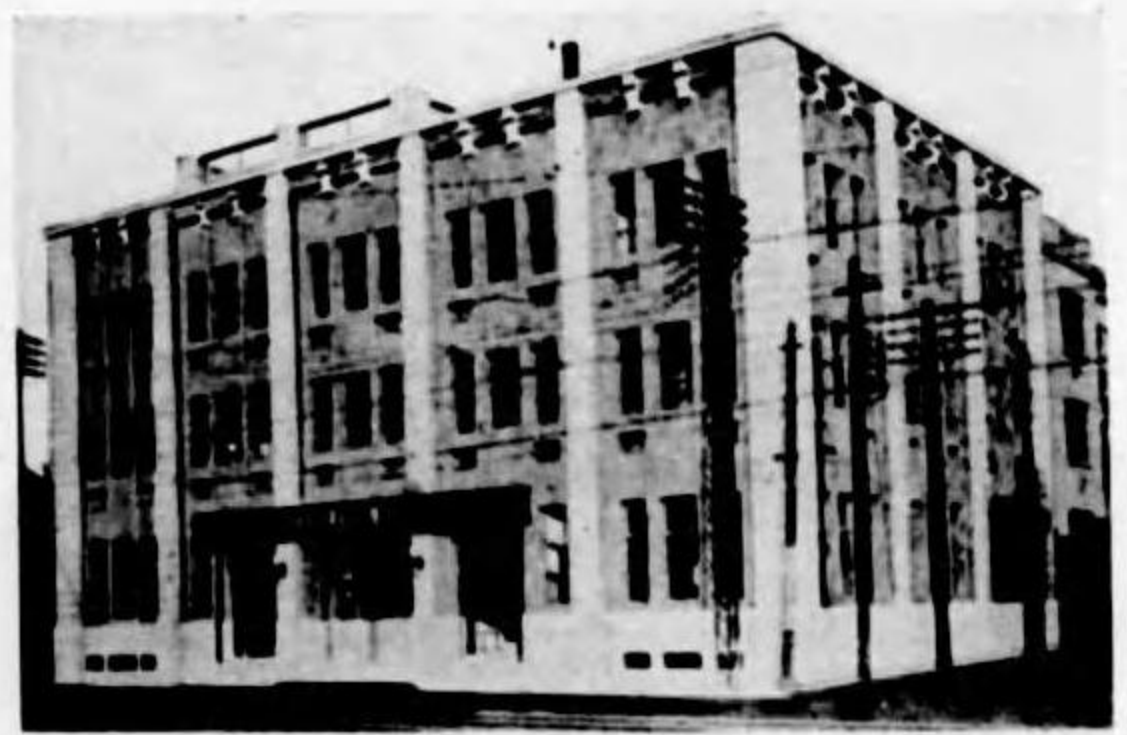
一、職員 七三人
二、工員 一、五二一人
男 一、五二一人
女 四六五人
計 一、九七七人
合計 二、〇五〇人

土木建築界の重鎮

株式會社鹿島組

鐵道建設事業の權威 我國洋館建築に於ても元祖

鹿島組の創立は明治十三年三月であるが、鹿島家の請負事業に從事し始めたのは今から約九十年の昔天保年間先々代鹿島岩吉氏が京橋町に於て松平越中守外二三大名の屋敷に出入りして建築の用を請けたることから。爾來國內に大變動が起り世は一轉して明治の初期、時勢の推移と文化の趨勢と洞察した同氏は一時東京を去りて横濱に其業を遷し、當時横濱一と言はれた外國の貿易商、通稱A一番館の大建築を請負ひ、工事は順調に進んで遂に我國洋館建築の元祖たるの稱をほしいままにした。從つて同地に於ける氏の信望は遂に日増に著し、就中在留外國人の信賴特に厚きものであり、次から次に外國人の社屋建築を請負ふこと頻繁となり遂に當時の神奈川縣參事山田直成氏に認められ、縣の御用達として益々氏の得意昂然たるものがあつた。



株式會社鹿島組本店

その後五十餘年、業績極めて順調にして此の礎もなく年々相當の成績を擧げて來た。その經營極めて堅實にして時流に乗じ順に業務を擴張することなく、數多の土木建築工事を完成し殊に吾國鐵道建設に貢獻すること甚大なるものがあつた。

斯くて鹿島組は時勢の進運に伴ふため、昭和五年二月その組織を改めて株式會社（資本金參百萬圓全部拂込）とし益々業界に雄飛せんとして居る。

當主にして現社長たる鹿島精一氏は三代目であつて、氏亦斯界の逸材として廣く敬意を受け以て許々たる同社の將來を凝視しつゝ先大なるその業界を統率して常に、發展を劃するの傍ら、日本パイプ製造株式會社、臺灣地所建物業株式會社等の事業に參與して各重役たるのみならず、東京商業會議所議員に選出せられて我實業界に寄與するところ多大なるものがある。氏は明治三十三年東京帝國大學土木科を優秀なる成績にて卒業後先代を扶けて經營の任に膺り克く今日の大鹿島組を確立大成されたのである。斯く學識に豊かなる氏は人格に於てもまた崇高なる紳士として企業界の信望厚く同業界に於ても業界の盟主として常に重きをなすつゝあるは稀に看る多幸の士として敬して止まざるところである。

營業種目

- 一、建築電氣工事の請負、勞力の供給、並に砂礫の採取販賣
- 一、前項に關聯せる事業に對する投資
- 一、前各項に附帶する一切の事業

株式會社鹿島組役員

取締役社長	鹿島精一氏	取締役支配人	鹿島新吉氏
取締役	鹿島龍藏氏	監査役	日吉於菟一氏
取締役	菅野忠五郎氏	監査役	小畑順氏
取締役	櫻井金作氏	技術顧問	高石庫治氏
取締役	永淵清介氏	理事	山田虎之助氏
取締役	眞田三千蔵氏	理事	湖松茂吉氏

生命保險の使命に忠實なる

仁壽生命保險株式會社

本社 東京市麹町區内幸町一丁目



仁壽生命保險株式會社本店

同社が明治二十七年創立以來我國生命保險界に雄飛して今日の頃々たる名譽を獲得せるは勿論同社の堅實なる營業方針確守の賜なるもまた一面に於ては被保險者の利益制度のために不斷の研究と實行を怠らざりし結果でもある。即ち同社が最も誇りかつ一般契約者が既に賞識しつゝある利益配當契約の如きその一例として好評を得るものにして、此保險契約には利益配當は勿論契約の失効を防ぐためには特に自動失効防止の規約ありまた萬一中途にて拂込中絶の場合は被保險者にとりて最も有利なる拂返證書の發行をなしたはこれを擔保して貸付金の融通を計る等凡てに於て同社の被保險者にとりて最も有利なる經營をなしたはこれに擔保して貸付金にして我國國民利益増進のために益々その發展を要望するものである。因に同社役員左の如し。

取締役社長	下郷傳平氏
専務取締役	古澤幹三郎氏
取締役	窪田源一郎氏
取締役	村上富男氏
取締役	大川平三郎氏
取締役	下出民義氏
監査役	青木信光氏
同	北河豊次郎氏
同	福井彌平氏
相談役	菊池恭三氏

創立 明治二十七年
昭和五年末 五千八拾九萬餘圓
資産總額 貳億貳千貳百萬餘圓
同保險金額 貳億貳千貳百萬餘圓
同創業以來拂渡シタル
保險金額 參千八百四萬餘圓

支店所在地	
東京市麹町區内幸町一丁目	（本店）
大板市西區西新町一丁目	
名古屋市西區西新町一丁目	
福島市西區西新町一丁目	
小樽市東區東町一丁目	
青森市東區東町一丁目	
金澤市東區東町一丁目	
京都市東區東町一丁目	
大阪市東區東町一丁目	
神戶市東區東町一丁目	
徳島市東區東町一丁目	
高松市東區東町一丁目	
松本市東區東町一丁目	
富山県東區東町一丁目	
新潟県東區東町一丁目	
山形県東區東町一丁目	
秋田県東區東町一丁目	
岩手県東區東町一丁目	
宮城県東區東町一丁目	
北海道東區東町一丁目	

堅實なる營業方針 預金者本位の銀行

内國貯金銀行の概況

東京市麹町區内山下町一丁目

同社は我國貯金界に昔編して既にその信望を荷ふこと久し、常に堅實と誠意萬全主義の營業方針を堅持して廣く多數の預金者のために奉仕の實績を擧げつゝある。就中同貯金銀行の如きは他行にその類を見ざるの體積振りを示し商業の資金は勿論、店舗住宅の建築資金、教育資金、婚嫁の支度等にはこれを以て唯一の良法として大衆の要望に迎合するところだけし同貯金銀行の上に見る特徴の一つである。その他利益配當、蓄積貯金、普通貯金等に於て各々特有の良制度を採りまた同貯金銀行に預金を有する者のためには便宜手続に於て金額を限度として融通の方法を設け常に預金者の便宜を計りかつは同貯金銀行の基礎鞏固のために努力たゆまざるところ實に貯蓄銀行としての使命を完結せるものと云ふべきである。尚銀行中特に、貯蓄銀行にありてはその責任を遂行するの要位にある重役の信用人格等によつて堅實性を表明し得ること重要條件の一つである。この意味に於ても亦同社は左の如き我國實業界に輝々たる大家を連ねたる點に於て百パーセントの勳勞を示せり。

役員

取締役頭取	室田義文氏	取締役	宮本甚七氏
専務取締役	鈴木威氏	監査役	青木正徳氏
取締役	前山久吉氏	監査役	本多政樹氏
取締役	足立莊氏	監査役	益田信世氏



本支店所在地	
本店所在地	東京市麹町區内山下町一丁目（一番地）
大阪支店	大阪市東區大南町一丁目
京都支店	京都市東區東町一丁目
名古屋支店	名古屋市西區西新町一丁目
金澤支店	金澤市東區東町一丁目
濱松支店	濱松市東區東町一丁目
布袋支店	愛知縣豊田郡布袋町大字小倉
和歌山總代理店	和歌山市東區東町一丁目
右の外全國極要の地に代理店の設置あり	

國民保健に奉仕する 中央製菓株式會社

國產乳菓カルケツトに就て

嘗ては賞味萬能の我國製菓界に忽として現はれたる美味遠送萬全の理感を具備せるカルケツトこそまさに新界の感星として當時の一驚異であつた。而して世にその眞價を問ふこと既に十年、今やカルケツトが凡ゆる高級ビスケットの代名詞を形づくるまでに其聲價を揚げ得たことは一には同社が多苦心研究の賜と言ふべくまた二にはその優秀なる製品が國民一般の嗜好に適合して求めて得がたりし優良乳菓の要湯に迎合された結果でもある。而も同社が榮華上の第一條件であるカルシウムの適當な配合に成功を得たことは我製菓技術をして世界的指導の地位を占めしめ其誇るところ獨り同社のためならず國產製菓界のため格々の氣を吐くを得べきである。斯くまでカルケツトの盛衰なる進出を見るは長く輸米高麗觀望の陋習に惑はされたりし消費者の夢を醒まし、加ふに近時高唱される輸入防壁の愚漢一乘りて益々國產代表乳菓としての使命を完結しつゝあるものと云ふべく同時に我製菓界の趨勢を顧みて痛快感ぜざるものがある。左に營養學界の權威福士醫學博士の講を、所を掲載してカルケツトの紹介とする。

人體とカルケツト

福士醫學博士講演

何故人間がお菓子を食へなくてはならぬか、其菓子は上等のものを取らなくては行かないか、云ふことを學理上から解り易く説明を加へて見たいと思ひます。

人間が今日種々のものを食へて居る譯はどうか、云ふ理窟であるかを先づ第一番にお話いたしますと私共の身體は顯微鏡で見なければ分らぬやうな極小さい所の細胞と云ふものが成立して居ります。其の細胞の大きさは千度針の先で突いた孔のうちに、十數個も入ると云ふほどの小さなものであります。さうして此細胞は雲脂になり血液になり皮膚になり毛髮になり種々如斯く時代の要求に據りまして幾近「カルシウム」を含ませて居ると稱して發賣される菓子が流行して参りました。誠に結構な事でありませぬ。處が從來多量ある「カルシウム」菓子の大部分は悉く無意味のものである。何故ならば之等を分析して見ると大抵「炭酸カルシウム」とか「磷酸カルシウム」とかのやうに水に溶けない従つて人間の胃腸に小兒では殆んど消化することの困難なものが使用してあるからであるといふ事でありまして内服用として理想的の「クロールカルシウム」の含有で居る菓子は一も見當らないのであります。そこでこの「クロールカルシウム」を菓子に應用するのは非常に手敷で四季の季節に變化なきやう且つ調味の上でも於きまして頗る技術と熟練を要するのであります。そこで苦心研究の結果數種の菓子を調査して今回この「ビスケット」を完成し「カルケツト」と命名しました。これを諸大家に提供しました處が「これは眞に小兒の發育不良、腹痛、胃其他虚弱者は申すに及ばず大人でも保健衛生上非常に有効なるものである」と稱讃の辭を得ました。それから彼の「カルシウム」を一般に普及すべく努力せられて居る醫學博士福士政一先生陸軍藥劑官四郎先生もこの「カルケツト」製造に付き種々注意を加へられ、且つ菓子類で「クロールカルシウム」を使用したのは眞にこれが嚆矢であると申されて居ります。斯様に自信と稱讃を得まして今回發賣しました譯でありませぬ、將又其の香味



同社東京工場



同社大阪工場

のものになつて居ります。それで我々の身體を見ますと頑固なものであります。顯微鏡で見ますと極小さなものが集合して私共の身體を構成して居り、此の細胞と云ふものは生きて居ります。若し生きて居なければ私共は死んだと云ふことになりませぬ。若し全部の細胞が死んだときは私共は永久の死となり、一部分の細胞が死んだときは腫瘍となりませぬ。腫瘍が生じた所は即ち細胞が死んだ所でありませぬ。又死にきかない半邊のときは病氣であります。頭痛がするとか氣持が悪いとか云ふのは私共の身體を構成して居る細胞のどれか工合が悪いのであつて此譯は營養の不足であります。

同社大阪工場

必要なる物がありませぬこれは即ち鹽類でありませぬ、此の鹽類の中に今日御話申上げるカルシウムと云ふものが含まれて居ります。此カルシウムは種々の所にありませぬ水中にも解けて居り野菜の中にも含まれて居ります。殊に玉葱などはカルシウムが非常に多いのであります。我々の營養上殊にカルシウムは缺くべからざる一つの要素であります。(中略)

其處でカルケツトのお菓子に此カルシウムが含まれて居つて、カルシウムに諸り味を付けて美味しく食へるといふ効用がある所にカルケツトの重要な意義があらうと思ひます。總て物は糖や、食へると少しも滋養にはなりませぬ。此際諸君に御考へを願ふことは牛乳でありませぬが、牛乳は滋養になると申すけれども糖や、飲むと滋養にはなりませぬ、卵もさうで無様に食へても滋養にはなりませぬ、それ故誰でも滋養分を取るにア、うまかつたと云ふ感じの起るやうに食へば効力がありませぬ。(中略)以上

噴々たる信用と
業容の充實を誇る
常磐生命保險株式會社
本店 東京市麹町區有樂町一丁目



を梓の學科代現一觀社頭同谷比日央中の都帝景全屋社の店本るむ集

第二九五九號
一カルケツト
目的 衛生上適當
中央製菓株式會社
當所提出シタル本品は重寶有る極品色種團形シテ味甘特異風味有る右此本品試食シ地行シテ食用上有害物質含有を以テ衛生上無害ノト認ム
大正十二年一月廿二日
東京市衛生試驗所長技師 柿澤信義

第二九五九號
一カルケツト
目的 定量分析
中央製菓株式會社
當所提出シタル本品は重寶有る極品色種團形シテ味甘特異風味有る右此本品試食シ地行シテ食用上有害物質含有を以テ衛生上無害ノト認ム
大正十二年一月廿二日
東京市衛生試驗所長技師 柿澤信義

國產 乳菓 ツケルカ

- | 支店 | 支店 | 支店 | 支店 | 支店 | 支店 | 支店 | 支店 | 支店 | 支店 |
|-------------------|--------------------|-------------------|---------------------|-----------------|-----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 東京市麹町區有樂町一丁目三番地 | 大阪府大阪市東區南船場二丁目一五番地 | 神戶市東區東三軒が通三丁目一五番地 | 京都府京都市東區東山本町一丁目一五番地 | 名古屋市中區大須三丁目一五番地 | 仙台市青葉區大町一丁目一五番地 | 盛岡市大町一丁目一五番地 | 秋田市大町一丁目一五番地 | 北上市大町一丁目一五番地 | 山形市大町一丁目一五番地 |
| 東京市丸の内區有樂町一丁目一五番地 | 大阪府大阪市東區東船場二丁目一五番地 | 神戶市東區東三軒が通三丁目一五番地 | 京都府京都市東區東山本町一丁目一五番地 | 名古屋市中區大須三丁目一五番地 | 仙台市青葉區大町一丁目一五番地 | 盛岡市大町一丁目一五番地 | 秋田市大町一丁目一五番地 | 北上市大町一丁目一五番地 | 山形市大町一丁目一五番地 |
| 東京市丸の内區有樂町一丁目一五番地 | 大阪府大阪市東區東船場二丁目一五番地 | 神戶市東區東三軒が通三丁目一五番地 | 京都府京都市東區東山本町一丁目一五番地 | 名古屋市中區大須三丁目一五番地 | 仙台市青葉區大町一丁目一五番地 | 盛岡市大町一丁目一五番地 | 秋田市大町一丁目一五番地 | 北上市大町一丁目一五番地 | 山形市大町一丁目一五番地 |

基礎盤石にして
國民の支持せる

帝國生命保險株式會社

最古の創立と信用を誇り
組織と施設まさに日本一



同社本社の観

同社は明治二十年二月設立の認可を得、翌年三月一日資本金拾萬圓を以て營業を開始し當時はさうし該事業の難澁を乗り越へ我國生命保險思想の誘導に至大の貢獻を挙げつ、同廿四年福原有信氏事務につき超へて廿六年社長に就任以來斯業に盡精すること幾十星霜その改善發展策を講じて以て今日の鞏固たる基礎を築くに至り。

其間日清戦後事業擴張の機運熟し二十九年十一月壹百萬圓に増資し、爾來普通保險約款の改正、保險料算出方法、資本利用方法等に改善を加へ三十五年一月より利益配當付保險を實施して我國最初の被保險者本位の實を示したるは實に該制度の嚆矢として世評噴々たるものありたり

たほ四十三年、責任準備金積立方法を純保險料式に改め、又各地に支店出張所を増設して、大正四年末に於て保險契約高壹億、積立金壹千九百萬圓に上るの好成績を挙げたり。

大正十二年大震災のため社屋全壊の厄に遇へるも社屋に微動も與へず、進んで保險金の支拂を完了せるの忠實なる美譽と確實なる營業方針は同社の歴史を編するに特筆すべき事蹟にして、ともに我保險界に最大の誇りとするところなり。かくて世評の推移とも、創立以來蓄積を實力を補注して一大躍進を試みる機運に會し、昭和元年新種利益配當付保險を開始し、次いで他に客先して被保險者健康増進施設を開始したり。

昭和四年四月豫て東京丸ノ内に好適の場所を下して建築中の本店新社屋の落成を告ぐるに至り益々盤石の基礎を擁してその移轉を見る。而して科學的經營と相俟つて内外親共にはる同社の盛況を實現して我國保險界の一偉觀を呈するに至り。

契約高 五億五千萬圓
積立金 一億一千萬圓
創立以來 七千八百萬圓
支拂保險金 明治廿一年

社長 朝吹常吉氏
専務取締役 名取夏司氏
取締役 福原義三氏
取締役 矢野義三氏
取締役 小西喜兵衛氏
取締役 鈴木恒三郎氏
監査役 鈴木恒三郎氏
監査役 高木喜寛氏

南米拓殖株式會社

東京府南葛飾郡隅田町鐘紡本社内



同社本社の完成移るる南米拓殖株式會社

同社の植民地は「パラ州内」アカラ河の六拾萬歩、「モンテアレグレ」郡四拾萬歩、及其他に於て參萬歩、總面積百參萬歩、約二十七里四方の廣さである。就中アカラ河の流域は「パラ州」の首府「ベレン」市の南方約八十哩の處にあり「アカラ」河の本流と支流との間に在る處は熱帯地帯であつて河水清く飲料に適し植民地として地勢も良好である。

植民地は熱帯であるから其氣候は我が國の如く四季の區別無く常夏であるから日中は日本の夏七月頃と同じく戸外の労働に多少暑氣を覺えるが日中九十度以上を昇ることは稀で其の上涼しい貿易風が不斷吹いて居るから比較的涼しく朝夕は七十四度内外に下り夜分は充分安眠する事が出来る。雨期は十二月に始まり五月に終り一月から三月迄は雨が多くて一日中數回夕立の様に降雨があるけれども日本の梅雨の如く終日細雨が降り續く様な事は無い。乾燥期は六月より始まり十一月に終る此間も時々降雨はあるが八月から十一月に至る間は雨少なく農作物の收穫作業に都合である。

植民地の衛生状態は一般の熱帯地方と同じく附近土間に多少の「マラリヤ」、十二腸腸炎、アメーバ赤痢等の患者もあるが、同社は特に此點に留意し熱帯病の治療に學理と實地に經驗ある醫師を醫務部長に聘し是等の預防施設を充分にし又技術に堪能なる外科主任醫師を置き専ら外科的治療に當らしめ更に他の専門醫師や藥劑師を置き完全なる病院の設備と相俟つて植民の衛生保健上に不安なからしむると同時に疾病、負傷の治療上遺憾なからしむる事を期して居り且産婆や看護婦が留むるから産婦出産の場合も少しも心配には及ばない。

同社の植民地經營方針は植民の生活の安定を圖る事及衛生上の不安なからしむる事を二大眼目として居り従つて先づ衛生上の不安なからしむるため前記の如く衛生施設を完備して健康の増進を圖り又植民の生活を安定するには販路の確實なる農作物を選びて耕作し其生産物を有利に販賣することが必要であるから同社は植民地に適する種々の農作物の中特に米、棉花、煙草等の耕作を植民に奨励し、同時に植民の生産物が附近の商人等より値段を踏倒されぬ様に植民に代つて其生産物を加工精製して有利に販賣する方針である。

斯くすれば植民は各自に作物の採擇加工販賣等に苦心せず専心生産のみに従事することが出来自然植民地が一團となつて大産生産を圖ることとなるから植民全體の利益は増進し生活の安定を得るに至る事は明かである。

信託業の使命に猛進する

國際信託株式會社の概況

東京市京橋區京橋一丁目



同社本社の観

近時生活様式の複雑の度が増して来るにつれ財産の管理と言ふ事が極めて面倒となつて是に對する専門事務が生れたことは必然の結果であり、また人生の福運増進に奉仕せんとする一理想の實現でもある。即ちこの事務を最も忠實に正確に全實行するのが信託業である。

こゝに略述して紹介せんとする國際信託株式會社はその本社を東京市京橋區京橋一丁目に置き別項に掲ぐる營業課目に於て一般の信託業務を極めて懇切に而も堅實に經營し所有財産の安全保護と一切の勞苦なしに其利益を増進し得る唯一の良法は信託業の利用にありとの一大信念の許に漸くその緒に就かんとする我國信託業發展の途上に躍進しつゝあり。

就中同社が不動産業務に大半の努力を捧げて從來東角金融の便が開けなかつた建物に對し特に迅速低利を主眼にその目的を達せしめ、また近來財産の不況や世相の變化などに因る地代或は家賃の取立困難若しくは面倒なる實情に鑑みその差配に關する一切の事務を取扱ひて我國に於ける信託業の普通化に貢獻しつゝある。勿論同社は多年の經驗を經てし完備せる機關と行届いた方法を以て誠意その術に當り若々所期の業績を擧げて居ることは同社が夙に我國不動産事業の缺陷を補足するべく之を不動産部を管轄して奮闘し來つた一面目と見るべきである。故に營業要目中不動産信託、土地權及土地賃借權の信託、不動産の代理事務、(土地建物の管理、土地處分の代理、不動産の買賣の仲介、不動産の評價鑑定、不動産の金融等は特筆して同社の得意を高唱する所以。因に資本金は一千萬圓、重役左の如し

Table with columns for business categories and names of officers.

鐵工業の權威

株式會社横川橋梁製造所

東京市芝區月見町
大阪府區南船場



各種製品の一

二十有餘年の歴史は即我國に於ける橋梁鐵骨製作の歴史を物語るものと云て良からず、「横河橋梁」が大坂に産聲を揚げたのは明治四十年十二月であるが其當時は工場敷地僅に數百坪従業員數亦二十餘に過ぎず而も何等設備の見えぬものなかつたもので今日の隆昌は夢想もし得なかつたのである。然るに漸次従業員熱練と工場設備の整頓と相俟て業績揚り全四十四年十月には鐵道省の橋梁製作指定工場となり爾來工場を逐次擴張改善、大正二年には東京工場を深川に新設、業務の進展に伴ふて今年現在の芝浦に移轉、其後東西兩工場共益々技術の練磨と設備の改善とを怠らず今日では我國に於ける此種専門工場として其名を内外に認めらるゝに至つたのである。

今日でこそ製品は所謂舶來品に比し遜色ななく堅固と認められて居るのであるが過去を回想すれば實に涙ぐましい思い出が多い、其今日あるは元より偶然ではない、一面に於て理解ある需要家の庇護に負ふところ多大なること勿論であるが又今日の「横河橋梁」は經營者並に従業員が地味な努力と不斷の努力との結晶と言はねばならぬ、されば、元より現狀に甘んずべきではない、時勢は進み改良進歩の途は無限、「横河橋梁」を體難して尚一層の努力を要求して止まない、先年逸早く研究を開始せる電氣熔接工法の如き早くも實驗期を過ぎて實施時代に入らんとし己に各種構造物に應用施工して其百パーセント價値を認められ又國産獎勵の聲援者に起るや先タイプレット工場を新設して其製品の優良を認めらるゝに至りし如き其努力一端の現はれと言ふべきである。又最近滿鐵の命を受け「ユニオン鋼(Union Steel)」を以て鐵道及道路橋を設計製作せるが如き我國に於ける最初の試みとして興味ある事と感傳されて居る。

「横河橋梁」の向上は實に同所の望ばかりではない、我國産業に貢獻する處多大なるものがある。

- 鋼橋梁・鐵骨
- 水壓鐵管・鐵塔
- 其他鋼構造物一式

發 總 電 力
 八 四 〇 〇 〇 〇 〇
供 給 電 力
 一 八 九 三 〇 〇 〇



供 給 電 燈
 二 五 一 三 〇 〇 燈
供 給 區 域
 三 府 五 縣 十 二 市 二 十 八 郡

完成發電所	計 畫 中 發 電 所	購 入 電 力	主 要 送 電 幹 線
柳河原水力 一五〇七〇 鹽谷水力 一七〇〇〇 津川水力 一四〇〇〇 三木水力 一四〇〇〇 中津川水力 一四〇〇〇 原川水力 一四〇〇〇 竹原水力 一四〇〇〇 三木水力 一四〇〇〇 鹽谷水力 一四〇〇〇 計 一 〇 〇 〇 〇 〇	小牧水力 一七二〇〇 黒部川第二水力 一七〇〇〇 東部水力 一七〇〇〇 計 一 〇 〇 〇 〇 〇	三〇〇〇〇 三〇〇〇〇 三〇〇〇〇 計 一 〇 〇 〇 〇 〇	大阪北區 一〇〇〇〇 大阪東區 一〇〇〇〇 大阪南區 一〇〇〇〇 京都府 一〇〇〇〇 神戶市 一〇〇〇〇 計 一 〇 〇 〇 〇 〇

乾板の優良國産王
東洋乾板株式會社

その製品の紹介

本邦に於ける精密化學中、最も至難なる寫眞乾板の工業的製造は従來、二三の先覺者に依り創始せられたが、何れも工業的成果を見るに至らずして中絶してしまつた、我が東洋乾板株式會社は、大正二年以來、努力研究を續け、大正八年二月、株式組織に改め現會社を創設し、幾多の困難と戦ひながら各種の乾板製造を續け、大正十五年十一月大日本セロイド株式會社の援助を得て更に工場及研究所を新築し、研究及び製造にも面目を一掃する事を得、斯くて長年の辛苦と研究は遂に結實し、本邦に於て最も多く使用せらるる、普通乾板、東洋赤札の製造を完成し、昭和五年八月、商工省より優良國産品として指定せられたのである。更に同社は寫真用入像専用高速度乾板たる「東洋スタヂオ」(藍色性)の製造を完成し、輸入品に對抗して最も遜色なき眞價を發揮するとの盛んなる好評を博してゐる。尙、研究完成を遂げたフィルムも近々の間に市場に出るであらう。



- 製品種類**
- 東洋スタヂオ乾板
 - 東洋赤札乾板
 - 東洋藍色性赤札乾板
 - 東洋トロボカール(硬版)赤札乾板
 - 東洋トロボカール藍色性赤札乾板
 - 東洋黄札乾板
 - 東洋藍色性黄札乾板
 - 東洋緑札乾板
 - 東洋航空乾板

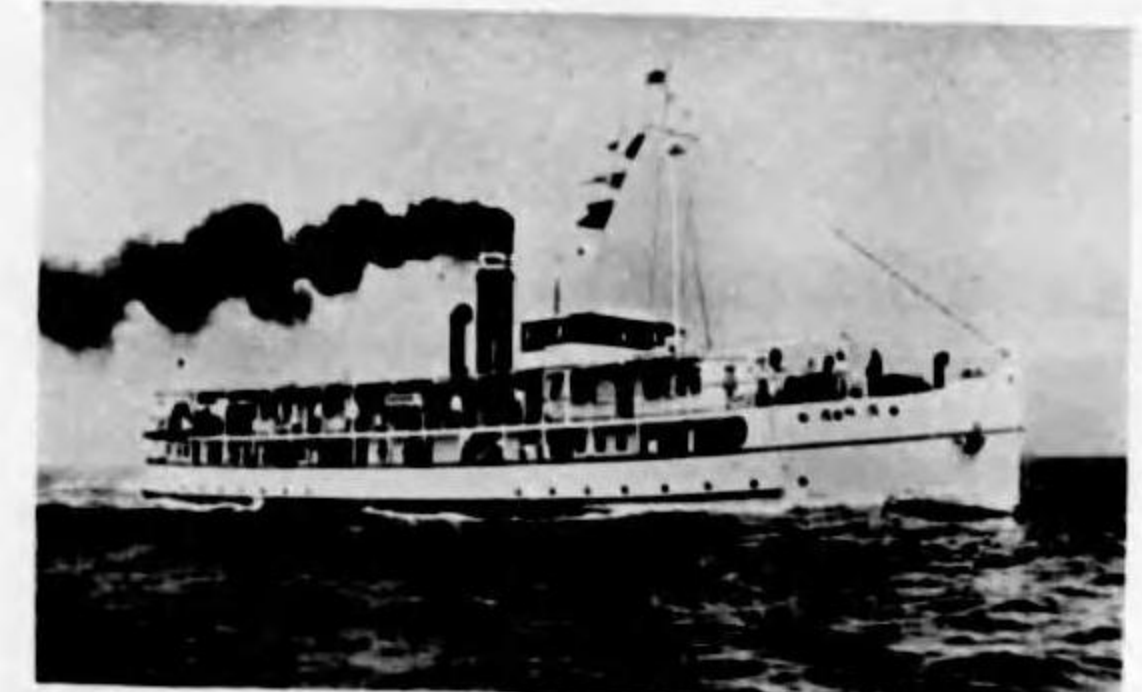
近海航路の覇者
攝陽商船株式會社

大阪を中心に有望航路の獲得
 所有優秀船二十餘隻

攝陽商船は大阪商船會社の分身として、大正三年十二月資本金二十萬圓で設立せられ、初めは大阪、淡路、高松の相互間を航行するに過ぎなかつたが、漸年の激しい競争に打ち克つたため資本金を増大し大正九年一月には一億圓に増資二十萬圓の増資を徴収、越へて十一月二十萬圓の増資を採り、今日では實額六十萬圓の資本金を擁して近海航路に堂々の陣を張ることとなつたが、航路の如きも營業當初と比べて、著しい發展を遂げ大阪を中心に淡路、高松間は、高知中津に至る新航路を開拓、更に大阪商船より新に大阪、名古屋間の遠航路を譲り受けて大阪商船會社の分身たる強味を示してゐるが、その他の小航路に至つても或は南海電車の淡路、洲本間におけるが如き或は宇治川電鐵の明石、岩屋間に於けるが如き、復は阿波の福良、撫養間の如き大阪商船を背景にぐんぐん延びて行くばかり、一方使用船も一年改良新造されて現在社船として就航せるもの二十隻を超へる有様で就中淡洲丸は最新の優秀船として、大阪淡路間を僅かに二時間半で完航してゐる。淡洲丸の活能は噸數三百二十八噸三七、總體が鋼造りで機関は三聯成、單軸車、實馬力八百馬力を有する強大なもの、速力は十五哩で近海航路には珍らしいよい活能を持つて居り船客の定員は別室四十一人、特等八十四人並等三百五人を容れることが出来る。

同社航路の名所舊跡

岩屋 明石に至る海路約二十八丁この間を明石海峡と稱し潮流甚だ急、且汽船、帆船の往來繁々しながら船のやうである。「船島」は海岸と時々離れ、巖頭古松二樹海風に枝を垂れて波浪と相映して諸般に映じ白帆の背を過ぎて行く状は、實に名狀し難い、その昔平家の公達が明石の浦つたひ海を渡つて屢々觀月の宴に興じたところだと傳へられる「江崎燈台」は石造白面の圓形で海抜高さは百五十八尺光輝距離實に十七海里に及んでゐる。「海水浴場」は近々四五丁の間に數ヶ所あり、志 筑 靜 齋 翁 墓 田 井 山 麓 あり、「舊 攝 陽 大 社 伊 弉 諾 神 社」は二里餘を距つて定期乗合自動車、便がある。洲 本 は内港を有し汽船は棧橋に横付けとなる「大濱公園」は洲本港南一帯の海岸で舊城山と稱し三聯公園と云ひ幾千の老松は雄姿をなして砂白潮澄み海水浴場、遊地として演寺、須磨、舞子に勝れるといひ近來その設備も整頓し毎年夏期には攝陽水陸場が開設され全国中等學校競泳大會が行はれる他、京都帝國大學の指定海水浴場としてまた京阪神小、中學校の臨海林間學舎が設けられるなど頗る船盛を極めてゐる。「三聯山」は高嶺、乙熊、老熊を總稱して俗に城山と云ひ山々櫻風多く頂上に木丸



大正四年本間急行船淡洲丸下り
 同社の優秀ディーゼル船天女丸

東洋一の快速を誇る 阪急電車沿線の案内

阪急電車は、一は阪神南都府間を僅々三分で連絡し、一は資力方面に探検客を迎へ、新造の「イマスカ」は乗り心地よく、速力は早く、郊外の風光は秀麗で、沿線外の生活理想郷をなして居る神戶線、



梅田駅に併立して大阪急電車の大阪駅舎

神社佛閣古蹟 大軌電車と参宮急行電車 名勝に恵まれた 大軌電車と参宮急行電車 名勝奈真公園 雄大な奈良公園一帯は、かつては奈良の都、春日山を眺む。



伊勢大宮全國民の等しく出散してやまざる

金扇味淋 丹娘水 一斗耐淋 釀造元 攝津酒造株式会社

同社は明治四十年五月攝津酒造所の商號にて創立され専らアルコールの製造販賣をして居た當時我が國では品質価格等に外國酒を凌駕する種なアルコールの製造は不可能とされてゐたが同社は鋭意品質の向上と製造能力の増加を計つた結果従來市場獨占の觀があつた獨逸酒精を驅逐し數年後には獨逸酒精の姿を全く見ない



同社工場及工場全景

發展を遂げ斯くして四十二年合資會社とし益々事業の擴張を計り其後は洋酒を原料とした燒酎製造販賣を開始し在來燒酎界に一大革命を促し日新式燒酎の品質優良なるを價格の低廉なることを宣傳し爾來需要は年々増加し遂に現今の新式燒酎黄金時代を現出せしむる様な素因を作つたのである。

斯くの如く常に其の趨勢に順應した新製品を提供し絶えず新界をリードしつゝ、堅實なる發展を遂げ大正九年七月現在の攝津酒造株式會社に組織變更を見るに至つたのである。之れより先大正七年同社は新式味淋の前途尙洋々たるを慮ひ之が醸造を開始し金扇味淋の商標を掲げて幾多群少味淋を馳名し市場に臨むを其品質の優秀卓絶なる濃厚白味淋は忽ちして世の嗜好に投じ逐年需要の増進を見今日には我國味淋全産額の一五%を占むるに至り今後需要を豫期し漸進的増産を計畫しつゝあり。現今主眼者は社長長岡嘉兵衛氏、常務取締役若井喜一郎氏である。資本金一百万圓、本社工場大阪市若吉區若吉町、出張所東京市日本橋區大橋馬場町、出張所大阪市西區萬代橋東之町。

火災保險會社は凡ての財産を護る

信用高き豊國火災保險株式會社

社長 大谷順 作氏 常務取締役 中田英太郎氏

火事は何時あるか決して油断出来ない。自分が要領しても他から類焼するともあり自分でも豫想をせぬとは限らない。是に備へるには火災保險を附けて置くに限りなく如何に壯麗にして安大なる住宅並に工場と雖も火災保險を附せざれば一朝火災に遭するときは灰燼に歸するを以て常に之を慮るべきである。



通知すると同社は忠實なる處取ることになつて居る。保險金は類焼の場合、他人より取寄せられたる場合、損失に因り自家より出火した場合又は漏電、落雷等に因り出火した場合に支給ふことは勿論である。其他消防の爲め損害を受けた場合にも夫々損害の程度に應じて支拂する責任がある。此外同社は契約者に対して最も忠實なる火災損害に於ける保證者として所業技師の信用と契約者本位の最良會社として好評贊々たるものがある。

土木建築界に雄飛して
堂々堅實の歩調を踏む

株式會社成山工務店の沿革と現況

完璧を期せる業務施設
優秀なる技術と正確なる設計

近代生活の向上に伴ってその一大要素たるべき建築物の構造は必然的に文化的改善を要求して来ることは否めない事實である。一は以て耐久性たる不燃、耐震、破損等に對する堅實に備へ、一は官衙、學校、事務所、住宅等を問はずあらゆる質的利便と生活水準或は裝飾上の設計即ち内外意匠調度の美觀などを萬全に期すためこれ等の研究は日進月歩の勢を以て發達し遂に世界を通じて國家の文明もその國の有する建築の程度に正比して表はるゝまでに重要な部門を形成するに至つたのである。茲に於てこの重大なる使命に活躍する建築業者の努力やまた實業家の進出は益々盛んとなつて世界有数の長足なる進歩を誇る我土木建築界を鳥瞰して聊か紹介を試みんとすることも本書編輯の目的よりして意義深きこと、信し斯界に喧々として傳へらるゝ株式會社成山工務店の概況を略述して參考に備へんとするものである。



大阪府立大學附屬
醫院敷地事務所



大坂市北區五丁目
住友株式會社船庫



大坂市東區共同宿所

の經營との相俟つて備はられたる賜と言ふべきである。斯く過去に於ける同社の大業績を顧みたまふ將來の躍進を想ふとき専務取締役成山謙造氏の得意まことに欣然に堪えざるものがあると同時にその双肩に荷はるゝ社會的期望の愈々大を加へられんことを待望してやまない。

本社所在地 大坂市港區池島町一丁目

同店工事經歷の一部

大正九年四月	大坂市 安治川土地株式會社	土 砂 埋 立
大正九年十一月	大坂市 安治川土地株式會社	木 造 瓦 葺
大正十二年一月	大坂市 大 阪 市 役 所	木 造 瓦 葺
大正十二年六月	大坂市 大 阪 市 役 所	鐵筋コンクリート
大正十二年五月	大坂市 住 友 會 社	鐵筋コンクリート
大正十四年十二月	大坂市 安治川興業株式會社	鐵筋コンクリート
大正十五年一月	大坂市 安治川興業株式會社	鐵筋コンクリート
昭和二年三月	大坂市 住吉區御崎土地整理組合	土 砂 埋 立
昭和三年六月	大坂市 大 阪 市 役 所	鐵 骨 鐵 筋 造
昭和三年九月	大坂市 大 阪 市 役 所	鐵筋コンクリート
昭和四年七月	大坂市 大 阪 市 役 所	鐵筋コンクリート
昭和四年十一月	大坂市 株式會社 杉村倉庫	コンクリート
昭和五年七月	大坂市 大 阪 市 役 所	鐵筋コンクリート
昭和五年十月	大坂市 大 阪 市 役 所	鐵筋コンクリート
昭和五年十月	大坂市 大 阪 市 役 所	鐵筋コンクリート

即ち同社は八八年的確なる自信と優秀なる技術家を招聘して其業を興し當時土木建築界の進運に乗りて非凡の技術と優秀なる設計による幾多の諸工事を完成し斯界に卓絶の異名を擧げられ就中埋立工事を主とする土木事業としては別項の如く各所の諸工事を異数の成績を以て完成し、また建築部の事業としては我大坂府市の官公署建築物特に多數の學校建築を施工裝飾に至るまで完成して大いに同社の優秀なる技術と正確なる設計を稱揚せらるゝ外横濱其他の各都市に於ける同社の活躍は年々その目覺しさを加へ殊に専務取締役成山謙造氏の堅實にしてかつ雄大な事業家の人格は克く雄大な同社の業務を統率するに適應しこれを補ふに取締役専務部長森本多三郎氏の才力に技術、營業兩方面の督勵を促し以て最近の不況時に際しても猶かつ斯界を睥睨して社運の隆々たるは同社が多年研究的積性を顧みず奮闘し來れる努力と堅實一天張

輪界の一大權威

株式會社岡本自轉車自動車製作所

明治卅四年名古屋に於て岡本松造氏が自轉車の製造を創め我國産自轉車のトップを切る。第一回製作二百五十臺を出荷して當時輸入自轉車に對抗して頗々の氣を吐き各層用家の好評稱讃々々同氏製作の自轉車に集り漸次製作数を増加して輸入防遏の實を擧げつゝ一方研究改良に努力して遂にさしもの多數を占むる我國自轉車の需用も國産品を以てこれを満たすの餘り海外に輸出して外國製品を壓倒するの盛況を現出せり。これに岡本氏の奮起によりて斯業の開發を見たものと云ふべく、また我國工業史に大筆すべき一大功績ならずや。時既に明治四十二年に於て一躍六千數百臺を市場に提供しその發展大に看るべきものあり即ち組織を改めて合資會社となし、益々業界に活躍して自轉車は岡本なる代名詞を創作するに至る斯くて大正八年株式會社に改更して資本金百五十万圓の大經營時代に達し愈々東洋一の自轉車製造株式會社として斯界に君臨するの業容を整へたり。而して大量生産の實績を擧ぐるためエムパイヤ號を廢して單一型式車ノリツ號一種の製作に全力を擧げ生産費の削減と品質の向上に其結果を得たり。而して自轉車製造能力一ヶ年八萬臺の外自轉車、自動車部品、飛行機部品等



輪界を代表する岡本製
ノリツ號と
其工場全景

の製作をなし、これまたその業績斯界に輝如なるものあり。明治四十三年以來各博覽會、競進會等に於て四十有餘回互に名譽賞或は金銀牌等の受領を得たるは如何に同社製品の優秀なるかを如實に示すものと云ふべし。因に同社重役は左の如し。

- 取締役社長 岡本松造氏
- 常務取締役 岡本徳松氏
- 取締役 大澤徳太郎氏
- 同 岡本直治郎氏
- 同 岡本直治郎氏
- 同 松崎房吉氏
- 監査役 織田了氏
- 顧問工學博士 堀覺太郎氏

本邦唯一の製帽王

帝國製帽株式會社 (靜岡縣濱松市)

明治二十五年東京貿易商野澤加吉氏が東京市中初音町に於て資本金五萬圓を以て初音合資會社を組織し始めて帽子の製作を試む。是れ即ち同社の濫觴なり。其の後該事業の確立を認むるや茲に其の規模を擴張せんことを計る。然るに都會地に在りては職工等集等の弊あるに由り寧ろ地方に於て好適の地を得んことを望みしに幸にして濱松市に該事業に興味を有する資産家の存するあり。乃ち此の地に於て會社を創立するの企劃を進め野澤加吉氏の首唱に依り同地方有力者十三名創立發起人となり資本金拾萬圓を以て明治二十九年五月其創立を看る創立當時は技術幼稚にして今日より之を觀れば實に隔世の感ありと雖も價格の低廉なるは同業者の競争少なきりし爲世上の好奇心に迎へられ事業次第に進展し同三十年濱松製帽株式會社を買収して之を分工場とす。而して益々業容の充實を計りつゝ我國製帽事業のリーダーとして君臨し大正十三年ドイツより技師カールマイヤー氏を聘して一會社を増資し以て益々社運の隆盛を計れり。其間幾多の財界波瀾も乗り越へ發展に發展を重ねて國産帽子

同社の光榮
明治四十五年七月快見宮貞愛親王殿下には同上場御禮察あらせられ御賞賜を賜はりたり。大正五年五月北白川宮成久王殿下御古禮の光榮を賜はる。大正四年一月十四日宮内省より毎く御料山高帽子御下命あり。實に當社無上の光榮なり。乃ちも優良なる技師を招聘し御料山高帽子を製造し同月二十八日上册す。同年十月再び御料山高帽子を御下命あり。正十三年迄年々御下命を辱く。昭和二年四月宮内省より御料山高帽子二箇御下命あり昭和三年五月更に山高帽子一箇中折帽子二箇同年六月山高帽子二箇を御下命す。



- 取締役社長 鈴木仁一郎氏
- 取締役 天野千代九氏
- 同 中村藤吉氏
- 同 鈴木源藏氏
- 取締役 小西敏夫氏
- 監査役 神谷久平氏
- 同 村越伊平氏
- 同 津倉龜作氏

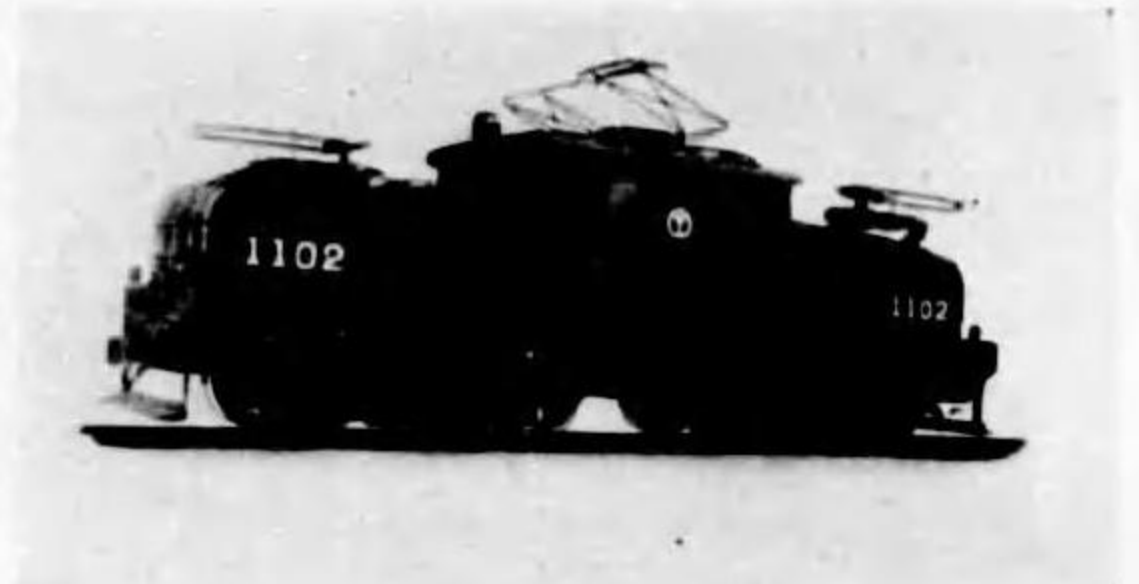
鐵道省及陸海軍省指定工場

汽車製造株式會社

本店 大阪市此花區島屋町
支店 東京市本所區錦糸町
丸ノ内出張所 東京市丸ノ内ビルディング

沿革

同社は本邦鐵道創設者たる故子爵井上馨氏が我國に於て未だ機關車製造業の獨立し居らざるを慨し、明治二十九年、故爵井上馨氏、故子爵深澤榮一氏故男爵岩崎彌之助諸氏の熱心なる援助と、毛利、前田、蜂須賀等の舊大藏諸侯及び大倉、住友、藤田諸男並に高田、今村諸實業家の贊成に依りて創設せしものにて水陸の便最も多き大阪の地に其工場を設置し、次で明治三十四年七月東京市本所區錦糸町所在平岡工場を合併し東京支店となせり、子は實に明治四十三



南滿洲鐵道株式會社
南滿洲鐵道株式會社
南滿洲鐵道株式會社

年英京倫敦に於て客死せられしまで前後十四ヶ年間終始本社の社長として全力を傾注せられたり、子の親後は現取締役社長工学博士長谷川正五氏其遺志を繼承し専心經營の衝に當り、塚本工場設備を擴張して今日に及べり
現在の重役下記の如し
取締役社長工学博士長谷川正五氏、取締役今村繁三氏、葛野春雄氏、大倉善七郎氏、出羽政助氏、深澤正雄氏、監査役青木菊雄氏、中川友次郎氏、相談役平岡興氏。

製品製造

- 機關車、蒸氣及電氣
- 汽車、貨車
- 鐵道用各種車輛
- 特殊鐵道車輛
- 工務用各種車輛
- 自動列車
- 各種機器
- 各種製鐵設備
- 各種電氣設備
- 各種機械設備
- 各種工具

大阪本店工場
大阪支店工場
大阪本店工場
大阪支店工場
東京支店工場

水力文明の尖端世界に誇るサージタンク

關東水力電氣株式會社

利根川筋佐久發電所



同發電所は明治三十三年水利權の許可を受け、大正十八年十月同社の設立を見、同十四年九月その起工を進めたり。即ち工費一千九百萬圓と四年に亘る歳月と而して世界に誇り得るダイフエレンシャルタンクの大工事其他幾萬の人員の結合した努力とにより昭和三年水力最新式の發電所を竣工したり。集水面積信越國境百十里、落差全落差四一九尺、有効落差三八六尺、取水量毎秒二千二百二十五立方尺、最大馬力八七二七馬力、發電力五〇〇〇キロワット、水路延長六八三五、揚撃土量一五八一四五坪、使用鋼材七九六〇噸、使用セメント四一〇〇〇噸、等の工事内容は如何に同發電所の大なる偉力を物語るべく水力電氣事業が國家的事業の中心を成す以上この大工事の達成は獨り同社の誇りとする止まらず我國産業振興の原動力として国力増進のため益々同社の發展のため水力應用の使命に向つて躍進を待望するところなり。

後歐戰戰終息して財界は一轉向をもちたるに際しても同店の營業に微動も感ぜざりしは終始一貫せる堅實第一主義の營業方針を確守し來つた賜でありまた之を實行した店主河井氏の非凡の事業的人格を現はしめるものがある。
又氏の事業を授くるに長息明氏あり帝大經濟學部の卒業後米のシャツ、カラー界を視察研究の爲三ヶ年の旅行を終へて昭和二年歸朝後優良品の製造にヒントを得、獨逸國より最新なる機械を購入して、工場増築の計畫成り寫眞に示す如き周圍十數町に餘る大規模の工場を完成して優良品の製造に鋭意努力日夜これ足らざるの感況である。

尖端的に偏せず、人後に遅れず
常に中庸を保つ羽車シャツミカラ

パンヒウセンカラー日本總代理店

トミヤ・カワイ商店

大阪市東區安土町四丁目
創業明治貳拾參年

世界の名品として譽々たる好評を博するパンヒウセンカラーの日本總代理店カワイ商店が專製して悠々我國製業界に君臨する榮冠は一に店主河井富彌氏の不拔の努力が生み出した偉大なるカラーシャツ界の存在である。歴史は一日で作ること出来なない河井氏が僅才の天分を荷ひて總國販出でより今日大成をなしたる途亦幾多の曲折をとりてた斯業者の實験として後代に傳へて我産業發達史の一部を飾るものがある。即ち氏が年來の目的地商工業の中心大阪に來つたのは明治二十三年憲法發布國家多事の秋である、時恰も歐米文化の移入盛にしてワイシャツ、カラー業界將來の發展に眼を着け店舗を東區安土町四丁目位置き餐食を忘れて家内工業的ワイシャツ工場を設けたのが今日の世界的トミヤカワイ商店沿革の第一頁をなすものである。
其後日清戰役の勃發後我國狀の一大變化を見るに至り戦後我國威益々發揚商業界の前途に多事を想はしめる頃であつた、大阪川口には愈々輸出の荷物を以て賑ひトミヤのシャツも其頃より輸出を始めたのである。而して漸次經濟界の躍進に伴ひ需用も増加して在來の工場のみには注文に應じ切れなくなり逐次工場を擴張して生産の合理化を計り、一方販路の開拓に努めたのであつた。
斯くして追年業運は昇天の一路を走り製品の優秀化に異常の研究を積むること相俟つて確固たる信用の基礎を築くに至つたのである。



(村濱町郡内河北 地在所) 講工ヲヤシ、一ヲカなる大社の一唯爾後



第一の室ソミ内講工



全圖的雙用者を誦
足でしる製品の
一例
シャツ(上)ミ
カラー(下)



概して同店が創業以來尖端に偏せず時代に遅れず常に中庸を保つて進み來つた其經營振りは將來に向つても永久に斯界の王者たるの聖道を進み行くことを何人にも確信せしめるものがある。

關西理髮界の重鎮として斯界に喧々たる聲を向ふ野原氏は福井縣の出身、明治三十年大阪に開業して、以来連年業運舉がりて今日の發展を見る。我理髮界に電機應用の諸器機を試用したる最初の人、常に研究的態度を持って業界を指導し、その修正指導として自ら人格向上に對する修養を勉み、其の功が、亦以て斯界の雄とせらるゝ所以。

大阪市北區上福島中三丁目野原氏店舖
野原 晋五郎氏

理髮界の權威として然々業界の向上を計畫し、同志と相謀りて着々其實行の緒にある斯界の雄士七種俊藏氏は、業界稀に見る研究の人、つねに子弟を慈しむと雖も技術に於ては自ら信する所を絶対に遂行して他に絶を垂る。また店業に熱心なる点は同店が大阪有数の繁昌振りを現わすことが出来る。



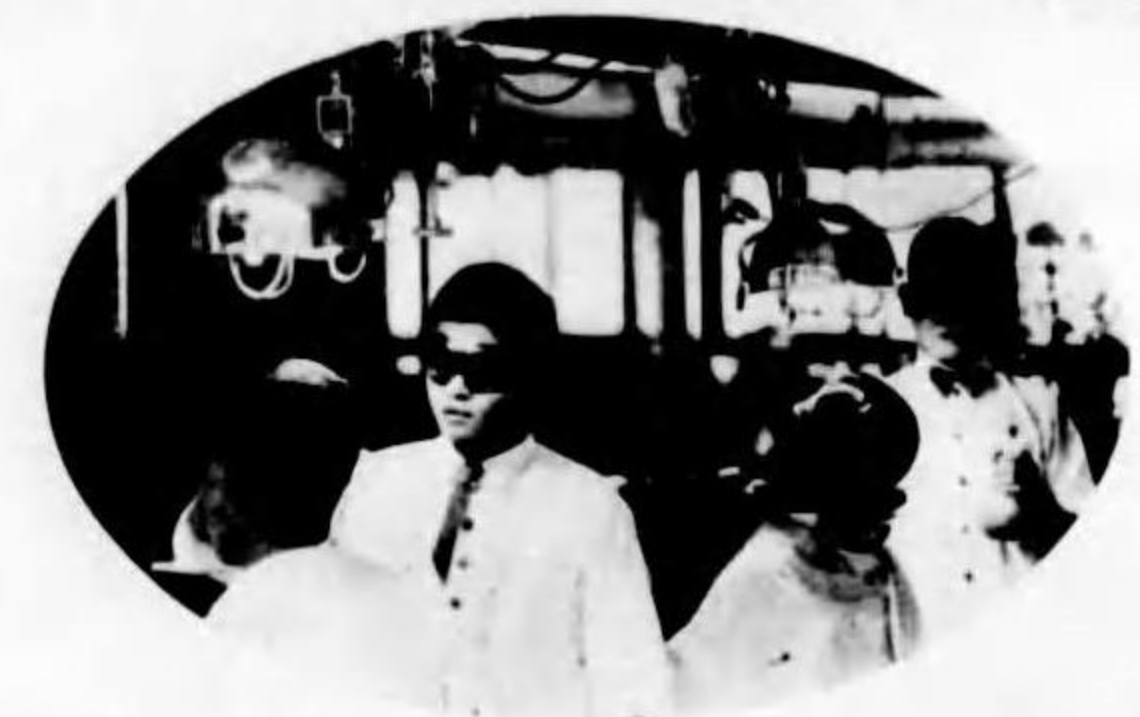
七種俊藏氏と完備を誇る同店施設、即ち業界向上の魁として先づ店舖改良の實を計れり。下は七種氏自ら太陽光線の施術をなすところ。



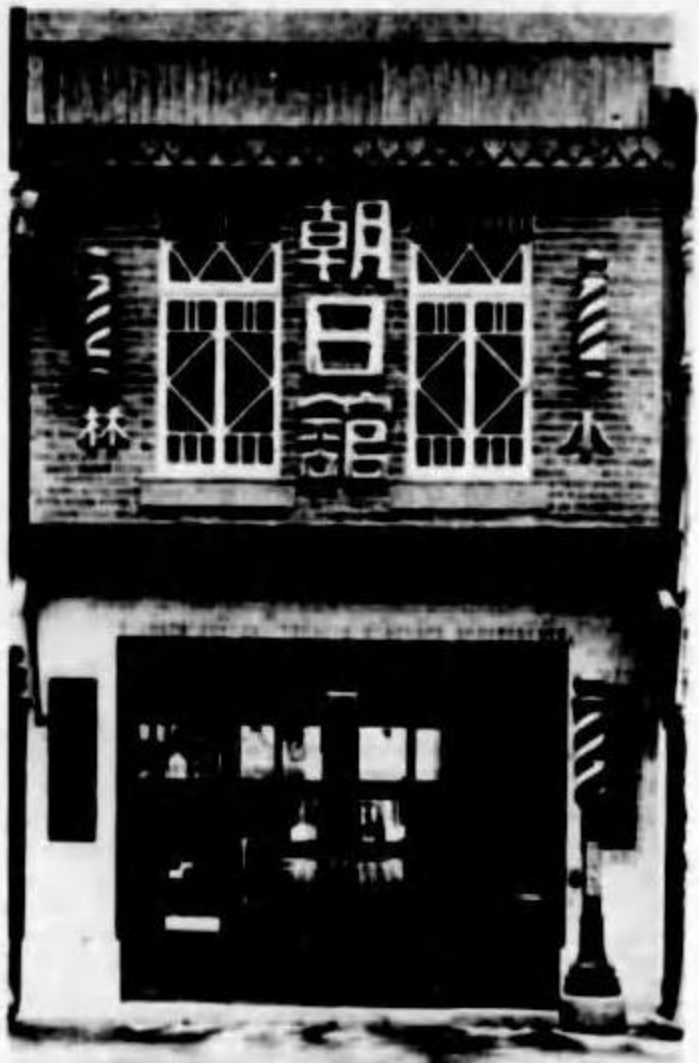
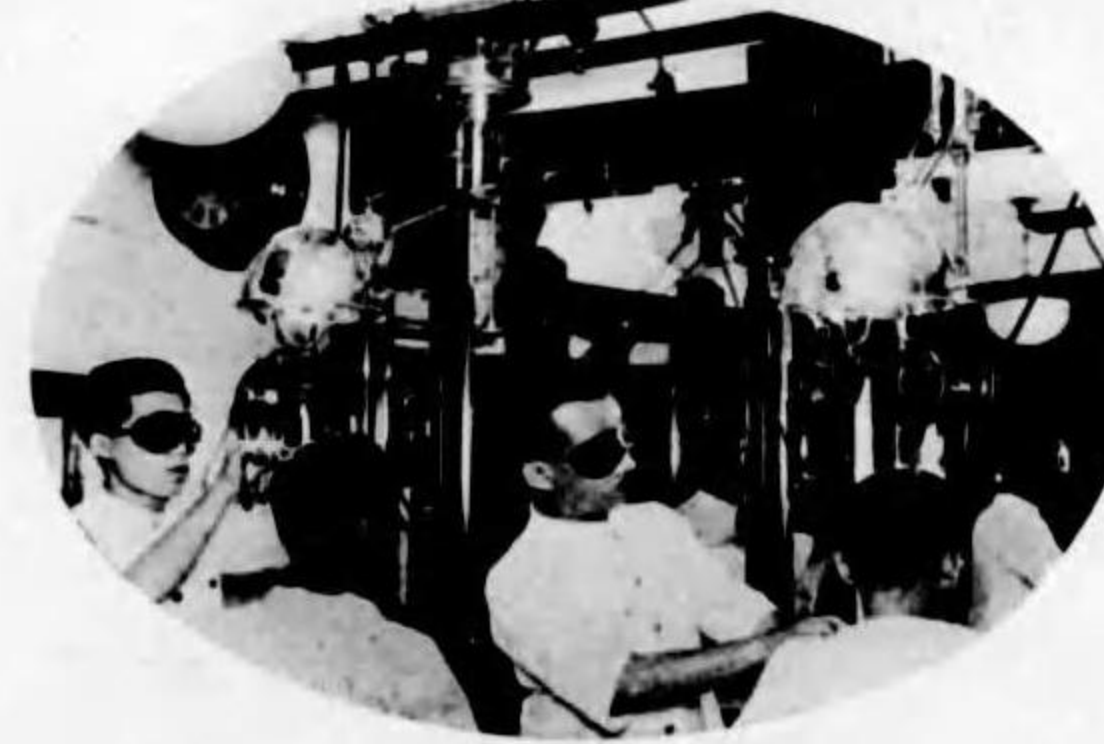
野原 晋五郎氏



業界に於ける實を取るの才人として、紛飾を欲せざるの士小林源次郎氏亦技術と經營に於て斯界一流の稱あり。傳へ聞くところによれば客數の繁昌に於ては大坂一二を争ふとのこと、若し店舖の完備とサービスの宜敷しきを得たるにある。



宜敷しき店舖外観、(右)は近時理髮衛生の美滿を行大陽光線の施術をなすところ



宜敷しき店舖外観、(右)は近時理髮衛生の美滿を行大陽光線の施術をなすところ

關東全美容界の青年を指導して業界の革新に盡力し、且つ京橋組合組長として其團體向上運動に没頭して寧日なし、常に技術の研究にも没たること勿論なるも斯界青年の人格的修養に目標を置き一路その邁進を見る。而も業用用品に斷然國産品を使用して國民の義務を唱導し是れを業界に宣傳すると共に自ら實行して其範を示す、實に氏の何事にも嚴格と熱誠を以てする所以。



長會合理髮青年會東關
氏 吉 三 橋 高

理髮器具界の元祖 合資會社花畑政男商會

(大阪市南區日本橋三丁目)

代表商品は理髮用椅子、常に研究改良をなして優良品製造販賣を企願す

近時國産品の愛用を叫ばれるに従つて且つ輸入品に依る需用を漸占しつゝあることは我國産業の一大盛事である。中にも理髮用椅子の國産は目覺ましき發展を示し、その元祖と稱せらるゝ花畑政男氏の如きはまさし斯界の功勞者として知らるゝ人である。氏は兵庫縣の出身にして今より二十年前以前理髮用椅子の改良研究を志し多量苦心研究の結果、諸種の椅子の製作に於て舶來品に遜色なき優良品の製造に成功し、我全國一般は勿論、關、滿、南洋、南米方面に販路を有し實に斯界の重鎮として活躍大に譽がるものがある。同店は明治時代の創業であつて最近昭和四年八月會社組織に變更し益々業容の膨大を示す。工場は津阪北恩加島町にあつて其製作能力大なるも日々注文品の製作に追はれる感現にある。因に花畑氏は理髮業界に廣く盡すところあり昭和二年時の兵庫縣衛生課長より金盃を下附せられたる外、大阪はもとより神戸、仙臺、大日本美髮會中御門總裁を始め全國有数の業界團體より表彰、感謝狀、または賞牌等を受けられたること屢々あり以て氏が如何に斯界に貢献したるかを知らるに足るものがある。



氏 井 丸 雄 の 界 皮 毛

を以て優秀毛皮を販賣して居る。嚴冬に際し必需品として而も價格低廉の爲め賣行き盛んである。

獺、狐毛皮類直輸入

斯界唯一の廉賣マルチ商會

カワウソ皮給製造卸

最近毛皮製身具の流行はすばらしい勢で流行しだしたことは一面に於て國民生活のレベルが向上したことを意味して居る。數年前までは毛皮の防寒具などは貴族、富豪の用ふるものを主として居つて極めて贅澤な感じを充分に持つて居つたが、近ごろはこれが實用化して一般に普及する様になつた。それは是等毛皮類の捕獲方法が發達して多量生産による結果と、是れが輸入の著しく激増したためで、こゝに紹介するマルチ商會ではアラスカ産の獺、北極方面の狐皮等を輸入して其直賣店を大阪市北區難波橋北詰橋上町電停前に設け、他の追従し能はざる廉價



觀盛のし田橋場工(下) 氏男政畑花 店主

本 店 電話 三、六六六番
工場 電話 四、六七四番
事務所 電話 三、四六九番

理髪用品界の代表的 岡崎英助商店

(東京市浅草區島町八番地)



理髪器具、化粧品製造卸業として我全国的聲望を荷し岡崎氏は大正三年現業所に於て現店主岡崎氏の創業せしところ、製品の優良と價格の低廉なる点に於て他に競ふものなく常に業界に噴々たる信用を持し居れり。而してその商品は多種類に亘りて理髪用品は如何なるものにも同様に販賣せざるものなし。其中にて最も好評を博せる二三を左に列記して業者の能率増進とその他の參考に資せんとす。定評ある東和剃刀、永年使用に耐ゆる石井式電氣毛髪男子用、女子用ニツケルメツケ掛けパイプライター等は現に業者の等しく優良を認むるものである。

關東に於ける代表的椅子と橋本椅子製作所

(東京市浅草區藏前南元町)



近時理髪文化の向上に伴ひ、その主用品たる椅子の選擇は理髪業の盛衰を支配する重要な使用をもつものとなつた。即ち橋本製椅子はこの意味に於て多年苦心研究を重ね材料の精選、職工の熟練等によりて理想的優秀品を業界に提供しつゝあることは國産品愛用の今日まことに慶賀すべく、また業界一般の福音として稱々たる好評を博するも亦故なきとせざるべきである。同店は大正三年の創業、所主橋本明三氏は同氏の伯父にして斯界の元祖たる石田氏の工場に於て十數年間研究を重ねたる人、常に研究に怠たらず事なく活躍せらる(寫眞は店主橋本氏と一九三一年エタリ型)

經營者 成田吉吉氏



關東の巨星カフエー

近代文化の生み出した「カフエー」の流行は驚くべき勢を以て全國にみまがり、あらゆる人生職業機關の王座をしめつゝあることはいない事實である。何時の世にも凡ての文化的存在が階級的に歩調をとることも亦自然の傾向である。こゝに略述して紹介に資せんとする「カフエー」クロネコはその創業の目的としてカフエー米の使命を強調し、これが人生々活不可離の存在としての價値を標榜するものである。即ち氣分米位、施設の完備、從業員の品性及び美の感覺、經營の堅實等の重大要素を考慮して他に類例なきカフエーの特質を全ふす所にクロネコが斯界の星座を占むる所以がある。この高遠なる目標を凝視して一踏將來の進出に一大確信を持つ經營者成田吉吉氏の努力はやがて来るべき我國のカフエー界に燃として輝く事業大成の足跡となるであらうことを豫想せしめる。カフエークロネコは昭和二年東京銀座二丁目に忽然として現れ當時小川一郎氏の經營であつたが後に成田氏これを繼承して益々改善を加へつゝ今日に至る。因に成田吉吉氏は代々成田工務店として土木建築請負業をなし土木建築界に於て輝々たる聲望を荷はる。畑邊ひのカフエー經營は妙な感じをもたせるが、クロネコ近來の堅實なる發展の一半は成田氏の人格の反映と見るべきであらう。



クロネコ觀傳の目丁二庫銀

設立 大正八年
資本金 五百萬圓

太平洋海上火災保險株式會社

取締役社長 中村 準 策
取締役 中 村 準 策
取締役 三 上 真 雅
取締役 伊原信太郎
取締役 會 知 鐵 吉
取締役 片野實之助
監査役 濱 崎 照 胤
監査役 高木重兵衛

自轉車自動自轉車
蓄音器附屬品販賣

Y.A. 安藤自轉車商會

香川縣觀音寺町
店主 安藤 芳 一

天下の銘酒「日本盛」

西宮酒造株式會社

堅實なる營業方針と良品生産主義

由來酒が播磨灘西の宮地方の特産物として幾百年來我兵庫縣産業界にその主位を占め來つたことは、もとより氣候風土の酒造業に好適なる状態に於かれたことは一因ではあるが、これについで同地方の古來酒造技術研究が代々努力を以て續けられたことも今日の産業大成を遂げ得た理由として忘れることは出来ない。而も現代生活と寸時も離るべからざる酒が我兵庫縣の重要な物産として國內は勿論、海外市場にその稱をよなへ、年々愛飲家を増加して洋酒に對抗し類々の氣を吐きつゝあることを想ふとき兵庫縣を故郷にもつ吾等の欣快に堪へざるところである。就中酒の生産に於て我西の宮は全國無比の好況にあり其代表的清酒「日本盛」は品質に於てまた聲價に於てその路に背かざるものがある。

清酒「日本盛」は規模の廣大と醸造設備の完全を誇る西宮酒造株式會社の醸造であつて、日本酒を論ずるならば先づ此の酒に指を挿するの銘酒として廣く世上に名譽をうたわれて居る。たゞ同社は粉飾と誇大なる廣告を避け、ひたすら品質の優良を唯一の旗印として、營業方針の堅實にのみ常に留意して居るだけに將來の發展は豫測し難いものがある。蓋しあらゆる産業の原則として優良確實の商品は堅實なる經營のみよりて生れることを忘れてはならない。

酒は
キンロ 代表的日本酒
大阪府堺市 大塚合名會社



古き歴史を誇る

江戸名物柳屋の化粧品

三百有数十年の昔慶長年間の創業

日本橋東交文藝の角に東京名物として遠く人々の見逃がすことのない有名化粧品店がある。即ち製...



景全の店品種化早柳物名江戸

城巾着の漫遊に住民は非常の苦しみをなめ、その防疫に困窮せし折柄...

賜りて同氏と昌とは同一地域に住するに至つたのである。かくて柳屋は幾百星霜運絶として業運盛火を向へつ...

「最上醤油」名稱の由来と ヤマサ醤油の沿革及び 發達の大要



ヤマサ醤油の起原は随分古いもので創業者が紀州有田郡廣村から鎌子へ来て初めて醤油を試験したのは正保二年であるから数へて見ると...



新界の標準品

アルパストロップ製造發賣元合資會社塩田商店

大阪市西區南堀江通一丁目電話櫻川三三〇、一九二三

本品の發賣は斯界に多大なる衝動を與へましたので他に類例なき幾多の特長を有して居ることを絶大の誇りとして居ります。



アルパストロップの構造



一、外壁の絶縁には、オカクス、木炭粉、積草等を使用せず獨特の精製したる材料ツンドラを用ひてあります...

冷凍界に断然擡頭せる劃時代的新冷却素

ドライアイス(乾燥氷)

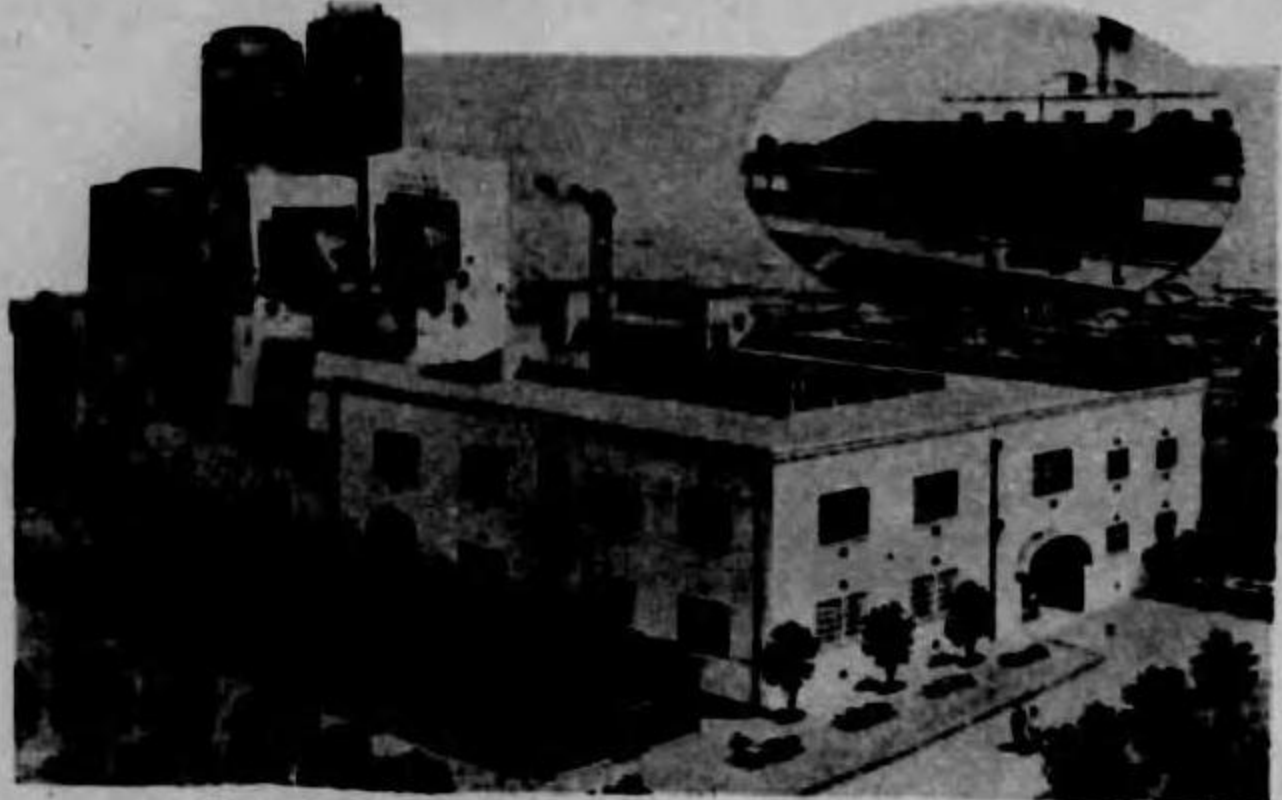
冷凍冷却の革命兒として忽現れたるドライアイスは、世界四十餘ヶ國に亘る特許權所有者米國蘇市市ドライ...



容器内隅々迄循環して行き互に、容器内の清潔を保ち、非常に衛生的である。播氏完成七十五度超過適宜の温度...

日本ドライアイス株式會社

- 東京市神田區錦町一丁目... 東京市小石川區... 東京市中央区... 東京市西區... 東京市東區... 東京市南區... 東京市北區... 東京市中央区... 東京市西區... 東京市東區... 東京市南區... 東京市北區... 東京市中央区... 東京市西區... 東京市東區... 東京市南區... 東京市北區...



大阪のみだ池西門 栗おしこ願しこ總本家
(大 黒 工 場)

大 阪
名 物

大 阪 大 黒 酒 店 總 本 店

大 阪 西 門 池 邊 大 阪 大 黒 酒 店

大 阪 西 門 池 邊 大 阪 大 黒 酒 店

氣のきいた
世話のいらぬ
御進物

年末年始の御用は御
贈り先きへ一々迅速
に御届け申します
御遠方は小包にして
急配致します

電話新町
電話新町
電話新町

忠 勇



銘 酒

若林合名會社

錦酒忠勇醸造發賣元

攝津灘西郷町
電話新町 五番四六〇番

大阪市西區西長堀南通二丁目

若林合名會社大阪出張所

電話新町二一七番



(下)所張出張大同(上)社會名合林若元造醸(忠勇)酒銘



純國産
大黒葡萄酒

健康の源泉

滋養と美味



本日新之業産

品 賣 非
製 權 許 不

發行所
日本産業經濟協會
大阪市東區唐物町壹丁目參拾參番地

印刷所
森岡昌信

昭和六年十二月十五日 印刷
昭和六年十二月廿五日 納本

編輯兼發行所
森岡昌信
大阪市東區唐物町壹丁目參拾參番地

印刷所
稻村英吉
大阪市西區京町堀上通四丁目七番地



所張出及場工分

東 大 三
京 阪 原
出 販 分
所 所 工
京 市 西 區 長 堀 南 通 二 丁 目
東 京 市 京 橋 區 北 新 川

額 産 年

萬 歲 味 淋
萬 歲 燒 酎
萬 歲 白 酒 洋 酒

壹 萬 石
四 萬 石
五 千 石

井上酒造株式會社

大阪市西區川區傳法町北四丁目



大阪のみだ池西門 業こお顧しこお本家
(大工場)

大阪名物

大 名
物 阪

大 阪 名 産
大 名 賞 牌

大 阪 名 産
大 名 賞 牌

大 阪 名 産
大 名 賞 牌

大 阪 名 産
大 名 賞 牌

大 阪 名 産
大 名 賞 牌

大 阪 名 産
大 名 賞 牌



滋養と美味
健康の源泉
純國産
大黒葡萄酒





忠 勇



銘 酒

大 阪 市 西 區 西 長 堀 南 通 三 丁 目

若 林 合 名 會 社 大 阪 出 張 所

電 話 新 町 一 一 七 番

銘 酒 忠 勇 釀 造 發 賣 元

若 林 合 名 會 社

攝 津 灘 西 郷 町

電 話 神 戶 五 合 四 六 〇 番
新 影 四 六 番



本 日 新 之 業 産

品 賣 非
製 複 許 不

發 行 所 日 本 産 業 經 濟 協 會

大 阪 市 東 區 唐 崎 町 丁 日 登 拾 壹 番 地

印 刷 所 森 岡 昌 信

大 阪 市 中 區 唐 崎 町 丁 日 登 拾 壹 番 地

印 刷 人 稻 村 英 吉

大 阪 市 西 區 南 堀 南 通 三 丁 目 十 番 地

大 阪 市 中 區 唐 崎 町 丁 日 登 拾 壹 番 地

大 阪 市 東 區 唐 崎 町 丁 日 登 拾 壹 番 地



萬 歳 味 淋
萬 歳 燒 酎
萬 歳 白 酒 洋 酒

壹 萬 石
四 萬 石
五 千 石

井 上 酒 造 株 式 會 社

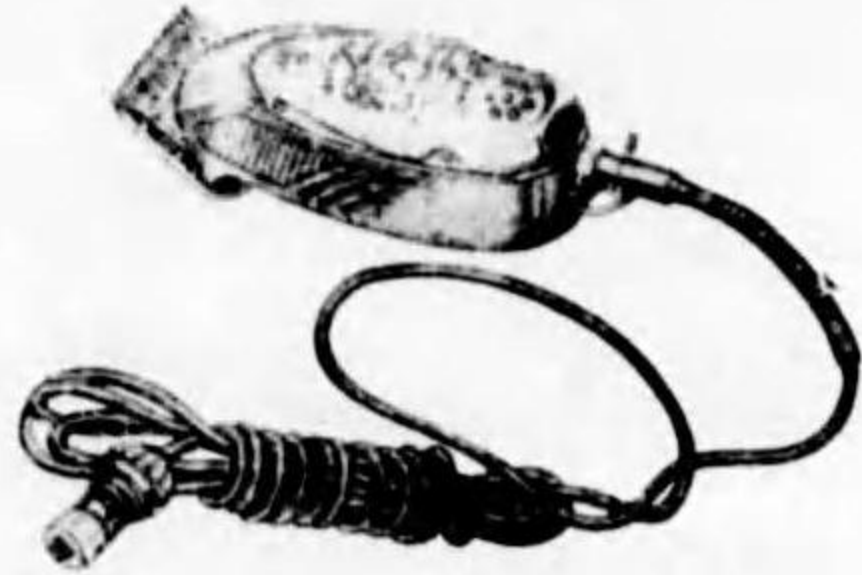
大 阪 市 西 區 南 堀 南 通 三 丁 目

分 工 場 及 出 張 所

三 原 分 工 場
大 阪 分 工 場
東 京 出 張 所

NIPPON RIHATSU KIGU KABUSHIKI KAISHA

ライオン電氣バリカン



定價金參拾八圓也

▼スワッチを入れて、スタートさせて
軽快なリズムと心地良い振動を持つ
ても軽く疲れもせず
稽古も要らず誰でも使へる便利重寶此の上なし

就練を要せず
誰にでも使へる
安全軽便手がなる
ライオン電氣バリカン

現代文化生活の必需品
趣味として高尚で實用として堅牢
一個買て置けば年何でも使へて
時と所を問はず便利経済の兩價
値百パーセント眞に家庭常備の現
代文化の好伴侶

〔是非壹個を備へて家庭生活の實用化へ〕

日本理髮器具株式會社

斷然優秀 特許ローラー式
輸入品に勝る

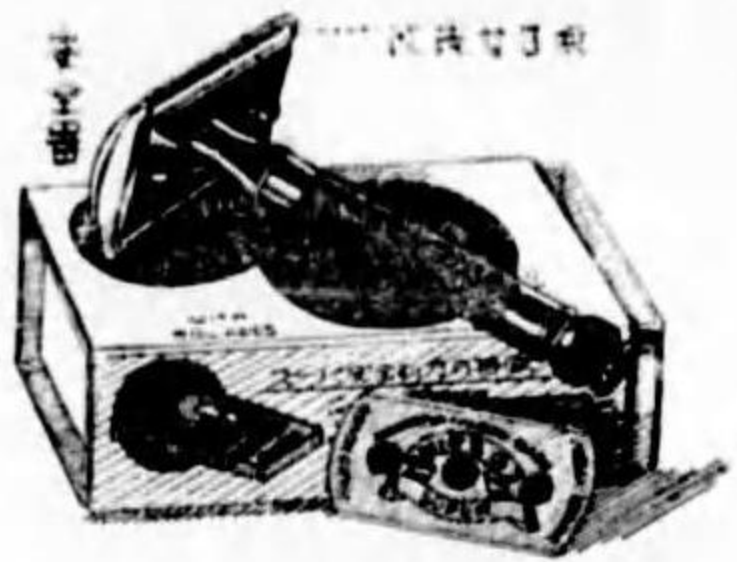
スーパニソー安全剃刀

小定 純金色 替刃 金壹圓
價 銀色 替刃 金八拾錢
優良品にして此の廉價
設計正確・優美堅牢

特長の二
従来の三ツ穴安全剃刀の欠點を補ひ「ローラー」
式に改良せる爲絕對安全に心地よく剃る事が出
来ます

特長の二
體裁優美なる化粧箱入りにして而も
實用價值を充分に備へて居るため
大衆向きに好評を博して居りま
す

製大品



NIPPON RIKI KABUSHIKI KAISHA

る生りよ場工るせ備完は品製るな秀優



景全場工

使用職工 壹百參拾名
壹ケ年製產高
バリカン 貳拾五萬丁
兩手刈 貳拾萬丁
モンキ
チ 貳拾五萬個

工場敷地 壹千坪
工場建坪 六百坪
使用動力 八拾五馬力
工作機械 壹百貳拾臺



弊社工場製モンキレンチは
本邦唯一の優良國産品として
屢々表彰せられ舶來品と比較
して何等遜色なき優秀品なれ
ば御安心の上一度御試用あら
ん事を願ひます

優良品として定評あ
るジャツキバリカン
製造は參拾年餘の經
験と歴史を有し絶對
に他品の追従をゆる
しません

社 會 式 株 器 理 本 日

(驛山線線軌大) 村手繩郡内河中府阪大
番三四八三五阪大座口替振・番九五岡枚話電

理髮用ジャツキ
バリカン
モンキレンチ
造 製

社 會 式 株 器 髮 理 本 日

番八四〇五・六五二 場船話電 日丁三町慶瀬區南市阪大……所業營阪大
番壹二壹六・〇二壹六 草淺話電 日丁壹町茅區草淺市京東……所業營京東

營 理髮器具・化粧品
業 理髮・美容器具
課 結算用具製造販賣
日 課 二室內設計課員
海 課 海外輸出入業

終